



2025 淡路JC 総合資料

BREAK THROUGH

～挑戦のその先へ～



Junior Chamber International Awaji
一般社団法人 淡路青年会議所

一般社団法人 淡路青年会議所

2024 年度事業報告並びに決算報告書

2024 年度理事長 横山 奈津紀

1. 理事長報告	2
2. 副理事長報告	3
3. 専務理事報告	4
4. 諸会議報告	5
5. 委員会事業報告	12
6. 委員会別事業決算明細	24
7. 直前理事長報告	25
8. 出向者報告	26
9. 監事報告	37
10. 会員動向	38
11. 役員名簿	39
12. 出向者一覧	40
13. 組織及び委員会構成	41
14. 褒賞一覧	42
15. 決算報告	43
16. 監査報告	49
17. 資料	50

2025 年度事業計画並びに収支予算書

2025 年度理事長 横山 泰明

1. 理事長所信	71
2. 基本方針	74
3. 副理事長抱負	75
4. 専務理事抱負	76
5. 監事抱負	77
6. 委員長・公室長事業計画並びに予算及び役割業務	78
7. 出向者抱負	88
8. 正味財産増減予算	91
9. 役員名簿	93
10. 出向者一覧	94
11. 組織及び委員会構成	95
12. 年間スケジュール	96
13. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	97

2024年度 事業報告書

2024年1月1日～2024年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一般社団法人
淡路青年会議所

2024年度 スローガン

Go Beyond!

～今、この瞬間が未来へ繋がる～

2024年度 基本方針

一、感謝の気持ちを持って行動しましょう！

一、多角的な視点で物事を捉えましょう！

一、新たにチャレンジしていきましょう！

1. 理事長報告

理事長 横山 奈津紀



まず初めに、2024年度理事長という大役をお任せいただきましたこと、心より感謝申し上げます。この一年、特別会員の皆様、現役メンバーの皆様、多くの関係各位の皆様にお力添えをいただき活動を行ってまいりました。この感謝を忘れず、今後も地域と組織の発展に向けて精一杯取り組んでまいります。予定者段階も含めスタート当初から、メンバー全員で力を合わせて頑張るという気持ちを大切にしてまいりました。その結果、大きなトラブルもなく、無事に着岸を迎える喜びは何事にも代えがたいものであり、二〇二四年度理事長としての責務を全う出来たと感慨深いものがあります。この一年で得た経験、そして感謝の気持ちを次年度以降はメンバーに伝え、共に活動することで淡路青年会議所のさらなる発展に繋げてまいります。

今年度最も大きな出来事として挙げられるのは8月に行った社会開発事業「淡路島のみらいのカタチ～ユニバーサルアイランドへの礎」です。本事業は淡路島民にユニバーサルツーリズムについて皆様方に知っていただき、これから先官民一体となり様々な視点で淡路島を分析し、誰もが取り残されず幸せで持続可能な明るい豊かな淡路島の実現に繋げることを目的に開催いたしました。開催後の来場者へのアンケートの結果から、ユニバーサルツーリズムの必要性を感じておられる方が多数いることが分かり、「自分たちで意識や行動を改革すること」に加え、「行政」の一体となった協力が必要不可欠であると認識していると捉えることが出来ました。今後淡路島民全員で淡路島を「ユニバーサルアイランド」と呼ばれるような島にしていく、その第一歩となる事業になったと思います。

最後になりましたが、予定者段階も含め約一年半、滞りなく活動が行えたのは監事、副理事長、専務、委員長の皆様のみならず、淡路JC全メンバーの皆様、OBの皆様、今年度の活動に関わっていただいたすべての皆様に多大なるご理解、ご協力を賜ることが出来たからこそであると実感しております。文章ではとても伝えきれない想いではあります、改めて厚く感謝を申し上げ、理事長報告とさせていただきます。

2. 副理事長報告

副理事長 戸田 敦大 伊東 明信

木戸 隆一郎 横山 泰明



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、横山理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。2024年度は4名の副理事長で構成され、理事長の掲げる「Go Beyond !～今、この瞬間が未来に繋がる～」のスローガンの下、理事長所信に書かれた方向へ向かい、全メンバーが与えていただいた役職と役割を全う出来るよう副理事長として日々務めてまいりました。三役間で議論し淡路JCとしての意思統一を図り、理事長の掲げる方向性に相違なく事業が実施できるのかを考えました。そして、副理事長として委員長に寄り添う形で背景・目的に沿った事業構築に向かって時間を共にしてまいりました。また、我々がこれまで諸先輩方から教わった事やJC活動で経験し学び得た事を各委員会へ伝播させられるよう努めてまいりました。そして、今年度行ったどの事業も委員長が一生懸命に考え、時間をかけて構築してきた素晴らしいものであったと自負しております。我々が今年度、様々な機会をあたえられ、体感し、成長できた経験は、これから社業や人生に活かしていくと感じております。そしてこの経験を様々な立場から次年度組織へ継承していくことをお約束すると共に、一年間共に歩んだメンバーの皆様に改めて感謝申し上げ報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 坂本 敏行



今年度、組織の根幹を担う専務理事の役職をお預かりして、理事長はじめ理事会構成者並びにメンバーの皆さんに多大なるご支援とご協力を賜り、無事に職務を全うできましたこと、心より深く感謝申し上げます。この1年を通じ、専務理事として、理事長が指示示す方向へとメンバーを導き、円滑な組織運営を実現するため、皆さまからの温かいご助言やサポートに幾度となく助けられましたこと、改めて感謝の意を表します。

また、様々な不測の事態を乗り越えるための判断力や、三役間のみならずメンバー全員にまで目配りし、広い視野で全体を見通すことの重要性を学ばせていただきました。さらに、ブロック協議会や他LOM、特別会員、関係諸団体との連絡調整を通じて、JC運動や活動の意義・目的を再認識する貴重な経験を得ることができました。

この1年間の活動を通じ、多くの学びと気付き、そして皆さまからの大きな支えをいたしましたことに改めて感謝申し上げます。至らない点も多々ございましたが、心温まるご指導・ご協力により職務を全うできましたことに心から感謝申し上げ、専務理事としての報告とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

4. 諸 会 議 報 告

一般社団法人淡路青年会議所 第 22 回定期総会

2024 年 1 月 10 日 (水) 於 伊弉諾神宮

正会員 43 名 【出席 30 名 委任状 12 通】

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 第 1 号議案 | 2023 年度事業報告承認に関する件 |
| 第 2 号議案 | 2023 年度正味財産増減決算報告承認に関する件 |
| 第 3 号議案 | 2024 年度委員会事業計画おあら日に予算及び役割分掌の件 |
| 第 4 号議案 | 2024 年度正味財産草原修正予算承認に関する件 |

一般社団法人淡路青年会議所 第 20 回臨時総会

2024 年 6 月 12 日 (水) 於 夢海遊

正会員 44 名 【出席 33 名 委任状 11 通】

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 第 1 号議案 | 2024 年度委員会事業計画並びに予算及び役割分掌の件 |
| 第 2 号議案 | 2024 年度正味財産増減補正予算承認に関する件 |

一般社団法人淡路青年会議所 第 21 回臨時総会

2024 年 8 月 7 日 (水) 於 洲本市文化体育館

正会員 45 名 【出席 32 名 委任状 13 通】

- | | |
|---------|----------------------|
| 第 1 号議案 | 2024 年度 預り金に関する件 |
| 第 2 号議案 | 2024 年度 監事退任承認に関する件 |
| 第 3 号議案 | 2025 年度 理事予定者承認に関する件 |
| 第 4 号議案 | 2025 年度 監事予定者承認に関する件 |

一般社団法人淡路青年会議所 第 23 回定期総会

2024 年 12 月 11 日 (水) 於 夢海遊

正会員 51 名 【出席 43 名 委任状 8 通】

- | | |
|----------|--------------------------|
| 第 1 号議案 | 定款変更に関する件 |
| 第 2 号議案 | 一般社団法人淡路青年会議所役員選任に関する件 |
| 第 3 号議案 | 除名に関する件 |
| 第 4 号議案 | 2024 年度 預り金処分に関する件 |
| 第 5 号議案 | 2025 年度 組織構成及び委員会構成に関する件 |
| 第 6 号議案 | 2025 年度 出向者に関する件 |
| 第 7 号議案 | 2025 年度 正味財産増減予算に関する件 |
| 第 8 号議案 | 2025 年度事業計画に関する件 |
| 第 9 号議案 | 2025 年度 例会・総会日時に関する件 |
| 第 10 号議案 | 2025 年度 預り金に関する件 |

理事会報告

年月日	内 容	場 所
2024.1.5	<p>1月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2024 年度例会開催日程の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 理事長・副理事長及び専務理事選任の件 (2) 新入会員承認の件 (3) 新入会員配属の件 (4) 出向者の件 (5) 2024 年度委員会事業計画並びに予算及び役割分掌の件 (6) 2024 年度正味財産増減修正予算の件 (7) 2024 年度会費納入の件 (8) 会員名簿作成の件 (9) 総合資料作成の件 (10) 広報誌発行の件 (11) 拡大パンフレット作成の件 (12) 1月例会の件 (13) 新年会の件 (14) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2月例会の件 【2/2】 (2) 3月例会の件 【1/2】 (3) LOM 役員懇談会の企画・設営の件 【1/2】 (4) 第 29 回わんぱく相撲淡路場所 【1/2】 (5) その他 	淡路青年会議所 事務局
2024.2.7	<p>2月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) OB 会費・特別会費納入の件 (2) 広報誌発行の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 2月例会の件 (3) LOM 役員懇談会の件 【一部審議】 (4) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第 29 回わんぱく相撲淡路場所の件 【2/2】 (2) 3月例会の件 【2/2】 (3) 4月例会の件 【2/2】 (4) その他 	淡路青年会議所 事務局

2024.3.6	<p>3月理事会</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 1月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 通常総会事業報告並びに決算報告の件 (3) 総合資料作成事業並びに決算報告の件の件 (4) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (5) 3月例会の件 (6) LOM 役員懇談会の企画・設営及び運営の件 (7) 第29回わんぱく淡路場所の件【一部審議】 (8) 4月例会の件【一部審議】 (9) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 5月例会の件【1/2】 (2) その他 <p>討議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会開発事業の件 (2) その他 	淡路青年会議所事務局
2024.4.3	<p>4月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙管理委員会設置の件 (2) 第20回臨時総会提出議案の件 (3) 第20回臨時総会設営の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 会員名簿作成事業報告並びに決算報告の件 (3) 2月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 新年会の件 (5) 第29回わんぱく相撲淡路場所の件 (6) 4月例会の件 (7) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 5月例会の件【協議2】 (2) 6月例会の件【協議1】 (3) 社会開発事業の件【協議1】 (4) その他 	淡路青年会議所事務局

2024.5.1	<p>5月理事会</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 準会員承認の件 (4) 第20回臨時総会提出議案の件 (5) 第20回臨時総会設営の件 (6) 2月例会事業報告並びに決算報告の件 (7) 3月例会事業報告並びに決算報告の件 (8) 5月例会の件 (9) 2024年度委員会事業計画及び予算並びに役割分掌の件 (10) 2024年度正味財産増減補正予算の件 (11) 選挙委員会設置の件 (12) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月例会の件【協議2】 (2) 社会開発事業の件【協議2】 (3) 7月例会の件 (4) 淡路サステイナブル社会実現フォーラム実行委員会設置の件 	淡路青年会議所事務局
2024.6.5	<p>6月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 第21回臨時総会設営の件 (3) 第21回臨時総会提出議案の件 (4) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認件 (2) LOM役員懇談会事業報告並びに決算報告の件 (3) 4月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 6月例会の件 (5) 淡路サステイナブル社会実現フォーラム実行委員会設置の件 (6) 淡路サステイナブル社会実現フォーラム実行委員会拠出の件 (7) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会開発事業の件【協議3】 (2) 7月例会の件【協議1】 (3) 8月例会の件【協議1】 (4) その他 	淡路青年会議所事務局

2024.7.3	<p>7月理事会</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2024 年度例会開催日程の件 (2) 2024 年度後期会費納入の件 (3) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (4) 5 月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 第 29 回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (6) 7 月例会の件 (7) 2024 年度 預り金する件 (8) 2024 年度 監事退任の件 (9) 2025 年度 理事予定者承認に関する件 (10) 2025 年度 監事予定者承認に関する件 (11) 第 21 回臨時総会提出議案の件 (12) 第 21 回臨時総会設営の件 (13) その他 <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 8 月例会の件 (2) 9 月例会の件 (3) その他 <p>討議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 2 回実行委員会 	淡路青年会議所事務局
2024.8.7	<p>8月理事会</p> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 準会員承認の件 (4) 6 月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 8 月例会の件 (6) その他 <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 9 月例会の件 【協議 2】 (2) 10 月例会の件 【協議 1】 (3) その他 <p>討議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 3 回実行委員会 	淡路青年会議所事務局
2024.9.4	<p>9月理事会</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報誌発行の件 (2) その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 準会員承認の件 (4) 7 月事業報告並びに決算報告の件 (5) 9 月例会の件 <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 10 月例会の件 【協議 2】 (2) 11 月例会の件 【協議 1】 (3) その他 	淡路青年会議所事務局

2024.10.2	<p>10月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第23回通常総会設営の件 (2) 第23回定時総会提出議案の件 (3) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 第21回臨時総会事業報告並びに決算報告の件 (4) 10月例会の件 (5) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 11月例会の件 【協議2】 (2) 12月例会の件 【協議1】 (3) その他 	淡路青年会議所 事務局
2024.11.6	<p>11月理事会</p> <p>報告事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2024年度正味財産増減決算の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 第20回臨時総会事業報告並びに決算報告の件 (3) 9月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 2024年度預り金の件 (5) 2025年度組織及び委員会構成の件 (6) 2025年度出向者の件 (7) 2025年度事業計画の件 (8) 2025年度正味財産増減予算の件 (9) 2025年度総会・例会日時の件 (10) 2025年度預り金の件 (11) 第23回定時総会設営の件 (12) 第23回定時総会提出議案の件 (13) 11月例会の件 (14) 12月例会の件 【一部審議】 (15) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) その他 	淡路青年会議所 事務局

2023.12.6	<p>12月理事会</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報誌発行の件 (2) 褒章委員会設置の件 (3) その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 定款変更に関する件 (2) 一般社団法人淡路青年会議所役員選任変更に関する件 (3) 除名に関する件 (4) 退会に関する件 (5) 新入会員承認の件 (6) 新入会員配属の件 (7) 10月例会事業報告並びに決算報告の件 (8) 11月例会事業報告並びに決算報告の件 (9) 淡路サスティナブル社会実現フォーラム実行委員会拠出金決算の件 (10) 淡路サスティナブル社会実現フォーラム実行委員会解散の件 (11) 12月例会の件 (12) 2024年度正味財産増減決算の件 (13) その他 <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) その他 	淡路青年会議所事務局
2025.1.4	<p>第13回理事会</p> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 12月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 第23回定時総会事業報告並びに決算報告の件 (4) 広報誌事業報告並びに決算報告の件 (5) ホームページ管理運営事業報告並びに決算報告の件 (6) 拡大パンフレット作成事業報告並びに決算報告の件 (7) 2024年度事業報告の件 (8) 2024年度決算報告の件 (9) 理事会預り金処分の件 (10) その他 	淡路青年会議所事務局

5. 委員会事業報告

理事長公室 公室長 田中 昭仁



担当	坂本 敏行	公室長	田中 昭仁	副委員長	藤本 朋大
委員	富永 浩司	、山本 賢	、吉田 光佑		

総括報告

総括おこなうに当たり、まず初めにメンバーの皆様に1年間ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。理事長公室としては、1年を通じて理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐を中心に、理事会・三役会の設営、また1月例会及び6月例会の設営を担当させて頂きました。少人数のメンバーで、なかなか委員会開催を行うことができませんでしたが、藤本副公室長をはじめとする委員会メンバーには、大変尽力頂いたおかげで1年間の活動を行うことができました。委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。理事長公室の職務をお預かりして、多くの経験と学びを得ることができました。1月例会では、1年のスタートを切る重要な例会の担当をさせて頂き、理事長が指し示す方向性をメンバーの皆様と共有することができました。理事長の1年に対する想いを、メンバー全員で共有することができたのも、全てのメンバーの協力があつてこそだと思います。改めてメンバーの皆様には感謝申し上げます。また、6月の選挙例会では、次年度の体制を決める重要な場面を設営して、多くの気づきを得ることが出来ました。厳格かつ公平な取り決めの元、メンバー全員が淡路青年会議所の未来を想像しながら投票を行い、次年度体制を決める選考委員を無事に選出することができました。最後になりましたが横山理事長、坂本専務、藤本副公室長をはじめとする理事長公室メンバーの皆様、また長年にわたり淡路青年会議所活動を支えてくださっている山下事務員、一年間理事長公室にご協力いただきありがとうございました。以上で活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023.9.11 9.15	はまだ 株式会社ジャック	委員長会 1月例会の件、会員名簿作成の件、総合資料作成の件	6名 2名
10.3	とり久	1月例会の件、会員名簿作成の件、総合資料作成の件	3名
11.2 11.16	とり久 源平	委員長会 1月例会の件、6月例会の件	6名 4名
2024.2.1	丸福	委員長会	6名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2024.1.11 6.12 5.14	伊弉諾神宮 夢海游 ゴルフ同好会	1月例会 一路平安～ひとすじに続く道～ 6月例会 承前啓後～未来を切り開け～ エメラルドコーストゴルフリンクス(宮古島)	32名 33名 特別 19名 現役 9名
5.15	ゴルフ同好会	シギラベイカントリークラブ(宮古島)	特別 19名 現役 9名
11.12	卒業ゴルフコンペ	六甲国際ゴルフクラブ	特別 23名 現役 22名

社会開発委員会 委員長 小川 優一



担当	戸田 敦大	委員長	小川 優一	副委員長	林 祐司
委員	津田 和典、池田 智明、片山 純平、井本 貴大				

総括報告

今年度、社会開発委員会では、5月例会と社会開発事業の2つのお役目を頂きました。予定者段階では、事業構築全体が何も決まっていない中で不安な日々を過ごしていました。年が明け右往左往していく中で『ユニバーサルツーリズム』という言葉に出会いました。そして神戸ユニバーサルツーリズムセンターの鞍本様、野見様にご協力を頂きながら様々なことをご教示頂きました。5月例会では、まずメンバー全体に『ユニバーサルツーリズム』というものを認知・理解して頂くために神戸ユニバーサルツーリズムの鞍本様、野見様にお越し頂き、どういったものなのかのご説明して頂きました。また8月に行われました社会開発事業では、乙武様、日本ユニバーサルツーリズム協会理事長親川様にご講演して頂いた後に、パネルディスカッションで『ユニバーサルツーリズムを活かした地域の発展』について乙武様、親川様、観光協会会长 木下様、淡路青年会議所 横山理事長に討論していただきました。現在、淡路島においては高齢化率が約38%で、2045年には45%まで膨らむと予想されています。また多様な社会課題の解決に向け、様々な取り組みもしていくかなければなりません。観光分野においても「誰ひとり取り残さない」視点が重要なになっております。

淡路島においても2025年に行われる、大阪・関西万博でも国内外からの誘客機会を見据え、多様な来訪者の受入に備えることも重要になっています。少子高齢化による、労働人口の減少によって経済成長が鈍化されていきます。超高齢社会に向けたユニバーサルアイランドとしての医療、福祉の充実、これから起こりうる災害への備え、淡路島が「島」であるが故に生まれる独特な課題もあるのかも知れません。ユニバーサルツーリズムはこのような社会課題の解決のツールとすることができます、それこそが本当のユニバーサルツーリズムのあり方だと考えます。これを淡路島民の皆様に認知して頂き、官民一体となって取り組むべき一助になったものだと確信しております。

最後になりますが、このような機会を頂き、淡路島の未来を官民一体となって共有できたのも、委員長としてお役目を頂きました横山理事長をはじめ、常に寄り添って頂いた戸田副理事長、そして理事構成メンバー、委員会メンバーをはじめリハーサルや当日に至るまでご参加ご協力いただきました正会員、準会員、またご支援いただいた特別会員の皆様のお陰でございます。私自身、4回目の委員長ということもありプレッシャーなどに押しつぶされそうになった時もありましたが、最後までやり遂げられたことを心から誇りに思います。

最後になりますが、乙武様、親川様、木下様、ご来場いただきました各種団体、行政関係の皆様、全ての皆様に心より感謝申し上げます。これで総括報告とさせて頂きます。本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2024. 1. 25	事務局	5月例会の件	4名
3. 16	事務局	5月例会の件	4名
4. 13	事務局	5月例会の件	4名
5. 7	事務局	5月例会の件・社会開発事業の件	5名
5. 29	事務局	社会開発事業の件	4名
6. 18	事務局	社会開発事業の件	5名
6. 28	事務局	社会開発事業の件	6名
7. 13	事務局	社会開発事業の件	4名
8. 10	事務局	社会開発事業の件	6名
8. 22	事務局	社会開発事業の件	7名
10. 10	事務局	社会開発事業の件	5名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2024. 5. 8	洲本市文化体育館	新たなまちづくり～AWAJI ブランド創出～	30名
8. 24	しづかホール	淡路島の未来のカタチ～ユニバーサルアイランドへの 礎～	430名

次世代育成委員会 委員長 田尾 吏



担当	横山 泰明	委員長	田尾 吏	副委員長	天羽 一真
委員	太田 康文、長谷 英典、三澤 大祐、岡崎 哲英				

総括報告

2024年度、淡路青年会議所の次世代育成委員会として活動するあたり、多大なるご協力をいただきましたメンバーの皆さんに深く御礼申し上げます。

まず3月例会では、メンバー同士の相互理解と連携を深めることを目的に、アイスブレイクや合意形成ゲームを実施しました。異なる視点や経験を共有することで、多様性への理解が促進され、組織としての一体感を高める意義深い機会となりました。

次に5月の「わんぱく相撲淡路場所～積土成山～」では、地域の児童とその保護者に、競技を通じて礼節や思いやりの大切さを体感する機会を提供しました。相撲という伝統ある競技に親しみながら、努力することの楽しさや達成感を共有する場となり、参加者全員にとって思い出深い経験となりました。

最後に10月例会では、自己理解と他者理解をテーマに掲げ、講師の足利学先生をお招きし、心理テスト「バウムテスト」を実施しました。この取り組みは、自分自身の特徴を客観的に把握し、多様な価値観を受け入れる重要性について考える場となりました。特に、個々のテスト結果を基にした講師の解説が参加者から高い評価を受け、個人の成長だけでなく、組織全体のダイバーシティ推進にも大きく寄与する成果を得ることができました

最後になりますが横山理事長、委員会活動を支えてくださった横山泰明担当副理事長には多くのご指導ご鞭撻を賜りましたこと深く感謝申し上げます。また天羽副理事長をはじめとする次世代育成委員会メンバーの皆さまの尽力により、今年度の次世代育成委員会の活動が実り多いものとなりました。改めて深く御礼を申し上げます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023. 9. 11	夢回遊	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	2名
2024. 3. 4	zoom	3月例会の件	5名
2024. 3. 7	zoom	3月例会の件	5名
2024. 3. 12	事務局	3月例会の件	5名
2024. 3. 21	zoom	わんぱく相撲淡路場所の件	5名
2024. 3. 25	zoom	わんぱく相撲淡路場所の件	5名
2024. 4. 9	zoom	わんぱく相撲淡路場所の件	5名
2024. 5. 2	zoom	わんぱく相撲淡路場所の件	5名
2024. 5. 11	事務局	わんぱく相撲淡路場所の件	6名
2024. 10. 7	Zoom	10月例会の件	6名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2024. 3. 13	洲本文化体育館	3月例会「衆力功をなす ~Let's Link Up~」	30名
2024. 5. 12	南あわじ市立福良小	わんぱく相撲淡路場所 ~積土成山~	26名
2024. 10. 19	洲本文化体育館	10月例会「自他の架け橋 ~Discover Yourself~」	34名

広報戦略委員会 委員長 原 亜里沙



担当	木戸 隆一郎	委員長	原 亜里沙	副委員長	江本 晓宜
委員	藤野 雅大、岡本 和也				

総括報告

まず、メンバーの皆様におかれましては1年間ご指導いただき、広報戦略委員会の活動に御協力いただきましたことを御礼申し上げます。

広報戦略委員会では一年を通じてJCI淡路の各事業、活動を発信してまいりました。私一人では何もできず、メンバーの皆様がいてくれたからこそ、活動内容の配信ができたと感謝しております。例会・事業を終える毎に感じるメンバーのありがたさ、自分がいかに未熟であるか。こんな委員長を支えてくれた広報戦略委員会のメンバーには頭があがりません。特に担当例会を開催するにあたってはメンバーの大切さを痛感いたしました。「4月例会 To change your point of view～自身をプランディング化～」では講師に佐藤様をお招きしメンバー一人ひとりが「自身をプランディング」し、対外・対内に価値ある情報提供を行える土台をつくる一助となる講師例会を開催させて頂きました。はじめての担当例会で右も左もわからず、メンバーに支えて頂きながら例会を開催できたこと感謝申し上げます。次に「11月例会 未来に繋ぐ思いを託す」では2024年の活動を振り返り、そこで得られた経験や反省をメンバーで共有し、これからJC活動の活性化に繋げていくことを目的とし開催させていただきました。次年度へ向けて淡路青年会議所の活動が更なる発展を遂げるためにも各委員会活動を振り返り得られた経験や反省を他メンバーと共有することができました。2つの担当例会、広報紙発行の件、HPの更新の件を通じて担当副理事長と委員会メンバー、メンバーの皆様に助けていただきながらも無事成し遂げることができました。一人では何もできない、己の未熟さを痛感しながらも仲間の大切さが身に染みた一年でした。

最後になりましたが私を委員長に選んでくれた横山理事長、温かく見守ってくださった木戸副理事長を始めとする三役の皆様には多くのご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。また江本副委員長、藤野委員、三澤委員には感謝の言葉しかありません。私と1年間共に活動してくださりありがとうございました。川越監事、植野監事におかれましても若輩者の私を指導してくださりありがとうございました。改めまして、今年度2024年度JCI淡路の皆さんに感謝申し上げまして総括報告とさせていただきます。(JCI淡路だいすき!)

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023. 10. 6	とりきゅう	委員長抱負、ホームページの件、広報誌の件	4名
11. 20	事務局	委員長抱負、ホームページの件、広報誌の件	3名
2023. 12. 31	事務局	ホームページ更新の件	4名
2. 15	事務局	4月例会の件	3名
2. 21	事務局	4月例会の件	3名
3. 28	事務局	4月例会の件	2名
7. 4	とりきゅう	広報紙発行の件	3名
7. 15	事務局	広報紙発行の件	3名
7. 29	事務局	11月例会の件	2名
9. 10	事務局	11月例会の件	2名
10. 22	事務局	11月例会の件	2名
11. 11	事務局	11月例会の件	2名
12. 10	事務局	ホームページの件	2名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
通年	各所	SNS・ホームページの更新	
2024. 2. 14	各所	広報紙発行	
6. 12	各所	広報紙発行	
9. 11	各所	広報紙発行	
12. 14	各所	広報紙発行	
4. 10	洲本市文化体育館	4月例会 To change your point of view～自身をブランディング化～	31名
11. 13	洲本市文化体育館	11月例会 未来に繋ぐ思いを託す	32名

交流委員会 委員長 中山 貴子



担当	木戸 隆一郎	委員長	中山 貴子	副委員長	松本 和幸
委員	秦 健二 堀部 泰博 南部 真希也 上田 誠也 天野 将貴				

総括報告

まず初めに、2024年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として委員長の大役を任命頂きました横山理事長に心からお礼を申し上げます。淡路JCにおいて初めての委員長を経験させて頂き力不足な点も多々ありましたが、JCの三信条である、奉仕・修練・友情をより深く理解し1年間を通して大きく成長することができました。

交流委員会では、新年会、LOM役員懇談会、例会(8月、12月)企画運営を行わせていただきました。新年会におきましては、横山理事長による所信表明、並びに新体制のお披露目し、日頃よりお世話になっている皆様への感謝を伝える事ができました。担当副理事長、委員会メンバーの助けを借りながら何とかやりきることができました。

最後になりましたが、横山理事長、木戸副理事長、三役会の皆様には、様々な場面でご協力を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました松本副委員長をはじめとする交流委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023. 9. 11	夢海游	抱負、年間スケジュール、委員会事業費	5名
9. 14	事務局	抱負、年間スケジュール、委員会事業費	4名
10. 2	事務局	抱負、年間スケジュール、委員会事業費	5名
10. 21	しらさぎの宿丸福	抱負、年間スケジュール、委員会事業費	5名
10. 23	事務局	抱負、年間スケジュール、委員会事業費	5名
11. 13	事務局	新年会の件	4名
11. 18	事務局	新年会の件	4名
11. 27	事務局	新年会の件（会場下見）	4名
12. 11	事務局	新年会の件	5名
12. 12	事務局	新年会の件、LOM 役員懇談会の件	4名
12. 26	事務局	新年会の件、LOM 役員懇談会の件	3名
2024. 1. 8	事務局	新年会の件	5名
1. 11	夢泉景	新年会の件（会場打合せ）	4名
1. 15	事務局	新年会の件	5名
1. 18	事務局	新年会の件	3名
1. 22	事務局	LOM 役員懇談会の件	6名
2. 2	事務局	LOM 役員懇談会の件	4名
2. 19	事務局	LOM 役員懇談会の件	5名
3. 4	事務局	新年会決算の件、LOM 役員懇談会の件	4名
3. 20	事務局	LOM 役員懇談会の件	4名
3. 25	事務局	新年会決算の件、LOM 役員懇談会の件、8月例会の件	4名
5. 9	事務局	8月例会の件	4名
5. 20	おきな	8月例会の件	4名
5. 29	洲本福祉会館	8月例会の件	4名
6. 1	事務局	8月例会の件	4名
6. 19	事務局	8月例会の件	5名
6. 26	事務局	8月例会の件	3名
7. 15	事務局	8月例会の件	5名
7. 27	事務局	8月例会の件	4名
8. 5	事務局	8月例会の件	5名
8. 29	事務局	8月例会決算の件	6名
9. 19	事務局	12月例会の件	6名
9. 26	事務局	12月例会の件	4名
10. 21	事務局	12月例会の件	6名
11. 14	事務局	12月例会の件	5名
11. 19	夢海遊	12月例会の件	4名
12. 7	しらさぎの宿丸福	12月例会の件	7名
12. 9	事務局	12月例会の件	3名
12. 10	夢海游	12月例会の件	7名
12. 16	事務局	12月例会の件	5名

会員拡大委員会 委員長 松田 恒久



担当	伊東 明信	委員長	松田 恒久	副委員長	林 征宏
委員	宮本 将史、赤澤 慎一、中村 芽生 、植田 峻正、橋詰 京平				

総括報告

まず、メンバーの皆様におかれましては1年間、会員拡大活動に御協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

会員拡大委員会では、正会員を増やすという淡路青年会議所での一丁目一番地である重大な役割を担う委員会として自覚し、活動をしてまいりました。メンバー個々の拡大活動では成功できないと感じ、2月例会では日本シニアクラブで拡大委員長をされていた拡大スペシャリストである鈴木篤先輩を講師としてお招きすることができました。この例会を通してメンバーに拡大活動に対する意識を高めることができました。7月例会では淡路島西海岸にて地方創生に基づき飲食店や宿泊施設を展開している(株)バルニバービの事業開発部長である水澤氏と現場責任者である井上氏を講師として招き、会員活動とメンバーにとって有意義な例会を設営することができました。何分、初めての委員長であったため、伊東副理事長をはじめとする委員会メンバーにはご迷惑をお掛けしたとは存じますが、皆様のご協力があったからこそ、無事に1年間をやり遂げることができました。淡路青年会議所を卒業するまでに理事メンバーとなれたことはとても貴重な経験を積むことができ、委員長を受けたことを今ではよかったですと感じております。来年度、会員拡大委員会はございませんが、拡大活動を全員で活動していくという意思が受け継がれていることを期待しております。

最後になりましたが、私を委員長に選んでくれた横山理事長、温かく見守ってくださった伊東副理事長を始めとする三役の皆様には多くのご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。また林副委員長、赤澤委員、中村委員、宮本委員、植田委員、橋詰委員には感謝の言葉しかありません。私と1年間共に活動してくださりありがとうございました。川越監事、植野監事におかれましても若輩者の私を指導してくださりありがとうございました。改めまして、今年度2024年度JCI淡路の皆さんに感謝申し上げまして総括報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2024. 1. 15	たへゑ	委員長抱負、会員活動の件	3名
2. 2	事務局	2月例会、会員活動の件	4名
2. 13	事務局	2月例会、会員活動の件	4名
4. 9	満天	7月例会、会員活動の件	4名
6. 4	満天	7月例会、会員活動の件	4名
7. 8	事務局	7月例会、9月例会、会員活動の件	4名
9. 9	事務局	9月例会、会員活動の件	4名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
通年	各所	拡大パンフレット作成及び配布	
2024. 2. 14	洲本市文化体育館	2月例会 全員拡大～みんなで拡大意識を高めよう～	30名
7. 10	サキア (旧尾崎小学校)	7月例会 Think about our future～淡路島の未来を考えよう～	30名
9. 11	洲本市文化体育館	9月例会 スキルアップ ~For Our Future~	32名

6. 委員会別事業決算明細

2023年度 委員会別事業決算予算明細

7. 直前理事長報告

直前理事長 伊山 真司



2024年度は、横山 奈津紀理事長の掲げるスローガンの基、各委員長をはじめメンバーそれぞれが想い・考え JC活動に邁進されてきたことと存じます。私自身は直前理事長として何をすべきか悩みましたが、先輩諸兄より教わってきたこと、そして自分自身の経験も踏まえ伝えていくことがよいのではないかと考え、皆様と関わってきました。しかし、経験者が伝えられることはあくまで「経験」だけであり、日々変化する中でその経験が答えになるということではありません。私自身10年のJC生活で感じたことも同じで、正解は一つだけではなく、数多く存在します。大切なのは想いを持って最後までやりきることです。そして、JCではなく100%ではなく101%を目指そうと言われます。この1%というのが成長ということです。高い目標をもって挑むことが大切であり、これからを担うメンバーにはぜひ様々なことに果敢に挑戦して頂ければと思います。

私は直前理事長の役割を全うできたかはわかりません。自分なりの行動ができたものと考えてはおりますが、判断するのは自分ではなく自分以外です。そのことはこれから先も忘れることなく自己満足で終わることのない行動をしていきたいと考えます。

最後に淡路JCの設立以来掲げております「淡路はひとつ」の基本理念の基、「明るい豊かな淡路島」の創造に邁進されることを祈念いたしまして、直前理事長報告とさせていただきます。

8. 出向者報告

公益社団法人日本青年会議所
会員拡大委員会 委員 川越 勇輔



本年度、公益社団法人日本青年会議所の組織グループ会員拡大委員会へ委員として出向させて頂きました。

会員拡大は毎年取り組まねばならない大きな課題です。これからも少しでも会員拡大に寄与できるように、残り一年取り組んでまいります。出向者報告とさせて頂きます。ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2021.1.19	京都会議 京都経済センター	第1回会員拡大委員会
2.23	大阪 不死王閣	第2回会員拡大委員会
3.30	茨城 クラブ アラジン	第3回会員拡大委員会
4.27	静岡 浮月楼	第4回会員拡大委員会
5.25	兵庫 高砂市ユーハイ福祉交流センター	第5回会員拡大委員会
7.19	サマコン パシフィコ横浜	第6回会員拡大委員会
9.7	兵庫 モニカリゾート	第7回会員拡大委員会
10.6	全国大会 福岡国際会議場	拡大セミナー
12.21	愛媛 道後山の手ホテル	第8回会員拡大委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本JC連携推進会議 議員 田尾 吏



2024年度、日本青年会議所連携推進会議に出向させていただきました。本年度は、連携推進会議の一員として、日本各地の地域活性化や課題解決を目指す多様な取り組みに携わりました。その中で得た知見と経験を以下に報告いたします。

本委員会では、アドベンチャーリズム（AT）の推進や、防災減災事業の展開を通じて地域社会の活性化を図ることを主なテーマとして取り組みました。特に、防災キャンプや非常食作成体験、防災フェスタといった具体的な企画が提案され、地域間連携を強化する意義深い議論が行われました。

また、委員会活動においては、連携強化を目的とした親睦活動が積極的に設けられました。こうした取り組みは、メンバー間の信頼関係を深めると同時に、意見交換や協力体制の構築に大きく寄与しました。さらに、議論の中で培った知識や経験は、今後の地域活動において大いに活かせるものとなりました。

この出向を通じて、地域活性化に取り組む青年会議所のネットワークの強さと意義を改めて実感することができました。これらの経験は、淡路青年会議所での活動においても新たな視点やアイデアをもたらすものと確信しています。

最後に、このような貴重な機会を提供していただいた青年会議所の皆様に心より感謝申し上げます。今後もこの経験を活かし、地域社会の発展に向けて一層尽力してまいります。以上をもちまして、出向者報告とさせていただきます。

出向記録

年月日	場所	内容
2024.01.15	神戸ポートピアホテル	第1回委員会
2024.02.20	神戸ポートピアホテル	第2回委員会
2024.03.10	神戸ポートピアホテル	第3回日本JC連携会議
2024.04.05	神戸ポートピアホテル	日J委員会日程
2024.05.02	Zoom	委員会WEB
2024.06.02	Zoom	委員会WEB
2024.07.15	高砂市	防災事業リハ&現調懇親会@高砂

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会
JC 運動拡大会議 議員 松田 恒久



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会 JC 運動拡大会議に出向させていただきました。一般社団法人姫路青年会議所より出向されています前川議長のもと兵庫ブロック全 LOM で会員拡大活動を成功させるという目標を掲げ、この1年間活動をともにしてまいりました。拡大活動に特化したブロック協議会は初めてのことと私自身も初の出向もあり、わからないことも多々ありましたが、淡路青年会議所で会員拡大委員長を兼任しておりましたので、拡大に関する様々な成功事例や手法を学ばせて頂きました。結果、淡路青年会議所の14名の拡大に繋がったと感じております。また、ブロックに出向するで、他 LOM のメンバーとの交流もでき、とても貴重な経験を積むことが出来ました。この経験を活かして今後の LOM 活動に邁進してまいります。最後になりますが、このような貴重な機会をいただけたことを横山理事長に感謝申し上げ、出向者報告を閉じさせていただきます。

出向記録

年月日	場所	内 容
2023.11.23	神戸ポートピアホテル	第1回 JC 運動拡大予定者会議
2024.1.13	姫路護国神社	第1回 JC 運動拡大委員会
2.10	神戸ポートピアホテル	第2回 JC 運動拡大委員会
2.17	三宮研修センター	第1回拡大推進会議
3.2	西宮市民会館	第3回 JC 運動拡大委員会
3.18	西宮市民会館	理念共感拡大会議
3.30	ZOOM	第4回 JC 運動拡大委員会
5.19	明石商工会議所	第5回 JC 運動拡大委員会
6.24	ZOOM	第6回 JC 運動拡大委員会
8.24	但馬地域地場産業振興センター	第7回 JC 運動拡大委員会
9.28	ZOOM	第8回 JC 運動拡大委員会
10.14	尼崎	ブロック大会フォーラム

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会
兵庫の未来創造委員会 委員 三澤 大祐



2024 年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造委員会へ出向させていただきました。主な役割として、誰もが政治参画できる社会の設営、JC カップの設営、ちいきみらいく HYOGO の設営、兵庫県知事との懇談会の設営、兵庫県知事選公開討論会の設営を担わせていただき、委員長の元、この 5 つの事業に参加させていただきました。

兵庫の未来創造委員会の担いのイベントに関わる機会を頂きありがとうございました。今年度小委員会では、誰もが政治参画できる社会の小委員会に所属させて頂き非認知能力を味方につけて夢をえがくというテーマで小学生とその保護者をターゲットに企画運営させて頂きました。JC カップでは各地域の代表チームをお招きし、少年サッカーの地域間交流を図ることが出来た。また、ちいきみらく HYOGO の事業では、中学生のトライやるウイークに向けた地域の事業者と中学生をジョイントする事業を行いました。兵庫県知事との懇談会では各地域の高校生をターゲットにアンケートに協力を頂きアンケート結果を基に兵庫県知事と懇談することが出来ました。最終最後に兵庫県知事選挙の公開討論会を開催する事になり、年間スケジュールにはなかった事業が急遽入りましたが委員会メンバーそして、兵庫ブロック協議会の委員長方や役員団のサポートも有り無事終える事ができました。一年通じて、何かしらの事業をブロック出向メンバーと共に熟することで新しい交流の機会になり大変有意義な 1 年を過ごすことが出来ました。兵庫の未来創造委員会に出向させて頂きありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2023.11.23	神戸ポートピアホテル	兵庫の未来創造委員会
2023.12.16	尼崎青年会議所事務局	第0回全体委員会
2024.01.29	三原中学校	ちいきみらいく事業協力依頼
2024.02.10	神戸ポートピアホテル	第2回全体委員会
2024.03.08	西宮	第3回全体委員会（オンライン参加）
2024.04.14	ラッセホール	政治参画事業リハーサル
2024.04.20	オンライン	政治参画事業事前打合わせ
2024.04.29	ラッセホール	政治参画事業
2024.05.29	オンライン	JC カップ事前打合わせ
2024.05.31	佐野運動公園	JC カップ前日準備
2024.06.01	佐野運動公園	JC カップ当日
2024.06.05	三原中学校	ちいきみらいく淡路地区委員会
2024.06.20	オンライン	ちいきみらいく神戸地区委員会
2024.07.05	神戸歌敷山中学校	ちいきみらいく神戸地区知事懇事前打合せ
2024.09.06	オンライン	ちいきみらいく神戸地区知事懇談会
2024.09.12	ラッセホール	兵庫県知事選挙の公開討論会
2024.10.27	兵庫県中央労働センター	

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会 委員 藤本 朋大



2024年度、兵庫アカデミー委員会の委員として出向させていただき、誠にありがとうございました。他LOMのメンバーの皆様と幅広く交流することができ、価値観の多様性や地域の特性を学ぶことができました。兵庫アカデミーでは、入会の浅いメンバーを対象としているため、JCの基本理念を学ぶ機会も設けてあり、今後の淡路JCでの考え方や行動に対しても非常に学びが多いものとなりました。横山理事長をはじめ、このような貴重な機会を与えて頂いた淡路JCの皆様に感謝申し上げます。アカデミーでの学びを踏まえ「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて日々のJC活動を精進して参ります。本年度、ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2023.11.23.	ポートピアホテル	兵庫アカデミー委員会 第0回委員会
2024.1.14	西宮	兵庫アカデミー委員会 第1回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会 委員 中村 芽生



2024 年度、公益社団法人日本青年会議所、近畿地区協議会の兵庫アカデミー委員会に出向させて頂く機会を頂きました。アカデミーメンバーは社業においても JC 活動においても志が高く理事長を目指していると公言している人もいて刺激を受けました。入会 3 年未満のアカデミーメンバーとの交流は、私の JC 生活においても素晴らしい思い出になりました。毎月、各ロムで、例会の様な学びとエクスカーション、(エクスカーションとは遠足や小旅行といった意味合いがあるのですが、各ロムが各自にその土地の特色を生かして企画し、アカデミーメンバーと楽しく交流しました。淡路 JC は、人数が少ない為、加古川 JC の仲間に入れて頂き、講師を招いて理念共感セミナーという講義をして頂き、その後は、茶道、裏千家なので茶道、お茶会をしました。実は、青年会議所には、青松会という茶道同好会があり兵庫県下には加古川にしかないという事もあり、エクスカーションではお茶会を開催しました。そこで、茶道経験者ということもあり代表で皆の前でお手前を披露させて頂きました。アカデミーの方々からは良い事業だったと良かったと好評価をいただきました。そして、アカデミーの 8 月に行われたメイン事業は、残念ながら不発に終わってしまいました。ですが逆に、淡路 JC でも行われているメイン事業を成し遂げる難しさと、毎年素晴らしいメイン事業を成功で納めている淡路 JC は、素晴らしい、さすがだなと誇らしくもなりました。横山理事長をはじめ、この様な貴重な機会を与えて頂きまして、本当に有難う御座いました。改めて、アカデミーでの経験や学びや感じた事を淡路 JC 活動に活かせられる様に「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて、私自身も精進して淡路 JC に尽力して参りたいと思います。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2024.1.14	西宮勤労会館	理念共感セミナー
2.10	ポートピアホテル	セレモニー・プロトルコにつきて
3.30	三木市立市民活動センター	JCゲーム
4.14	加古川商工会議所	研修プログラム
5.19	西脇市総合市民センター	JCプログラム「スピーチ」
6.29	ラスタホール	
8.8	兵庫県立武道館	メイン事業

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会 委員 立田 淳子



この度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会の兵庫アカデミー委員会の委員として出向する機会を頂きました。

他地区のLOMのメンバーの皆様と活動を共にすることで、地域を超えた交流と学びの機会をえて頂きました。すべての会に参加できたわけではないですが、アカデミー委員会メンバーの皆様の熱意や心遣いには感嘆すると共に、自身の今後のJC活動への姿勢や考え方、想いを再認識する貴重な機会となりました。

横山理事長をはじめ、このような貴重な機会を与えて頂いた淡路JCの皆様に感謝するとともに、アカデミーで得た経験や気づきを「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて歩んでいけるよう日々精進していきます。

ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2024.1.14	西宮勤労会館	理念共感セミナー
2.10	ポートピアホテル	セレモニー・プロトルコにつきて
8.8	兵庫県立武道館	メイン事業

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JCプランディング戦略委員会 委員 原 亜里沙



本年度近畿地区兵庫ブロック協議会プランディング委員会に出向させていただきました。当初はプランディング委員会の意義とは何か疑問を抱きながら参加させて頂きましたが、1年過ぎるとメンバーの皆様と交流しながら意義ある活動ができ、出向させて頂いたことに感謝しております。

今年の目標は兵庫の各地域の事業を取り上げ、広報の役割も兼ねて魅力ある情報を発信するというものでした。赤松委員長の下、委員会メンバーが力を合わせ兵庫ブロックの魅力ある情報が発信できたのではないかと考えます。

最後になりますがプランディング委員会で得た経験は自己の成長と自 LOM の広報活動に活かす経験ができたと考えます。このような貴重な機会の提供をして頂き、心から感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2024. 7. 7 7. 28	三木市教育センター 三田 MEAT 1 グランプリ	第4回 JC プランディング委員会 三田青年会議所のプランディング活動

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会運営委員会 委員 藤野 雅大



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。各 LOM より兵庫各地の名産や文化、各企業による職業体験、またステージイベントなどで活気のある第 5 7 回兵庫ブロック大会を尼崎の地で開催致しました。JCI 淡路のブースでは、しらさぎの宿丸福さんより牛肉カレーとタンシチューを出展いただきました。大好評によりわずか 2 時間弱で売り切れとなり、来場者によるブースランキングでは見事 3 位を受賞。設営や運営、また当日お越しいただいた中山委員長率いるメンバーの皆様のお陰で大盛況となり、淡路島の魅力を大いに発信することができました。

最後にこのような貴重な機会をいただけたことに感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2023. 11. 23	神戸ポートピアホテル	第 0 回ブロック大会運営委員会
2024. 01. 28	加古川	第 1 回ブロック大会運営委員会
02. 10	神戸	第 2 回ブロック大会運営委員会
03. 24	西宮	第 3 回ブロック大会運営委員会
07. 28	尼崎	第 7 回ブロック大会運営委員会
08. 03	尼崎	決起集会
08. 24	尼崎	第 8 回ブロック大会運営委員会
07. 07	Zoom(ハイブリット形式)	第 9 回ブロック大会運営委員会
10. 14	尼崎	ブロック大会 当日

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財務規則審査会議 議員 津田 和典



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会財務規則審査会議に出向させていただきました。一般社団法人明石青年会議所より出向の橋議長のもと、委員会として兵庫ブロック協議会で行われる議案を審査させていただく中で、多くの議案書を見る機会をいただき、多くの学びをいただけました。またブロック大会での褒章も担当し、ブロック大会の日程の変更があった為、少数での運営となりましたが、無事に終えることができました。それに加え、LOM役員懇談会の実施に関する業務もあり、兵庫ブロック協議会の各委員長とも交流を図る機会があることで、2024年度の兵庫ブロック協議会の事業に対する想いも知ることができました。これらの経験を淡路JCでも活かし、今後のLOM活動に邁進してまいります。最後にこのような貴重な機会をいただけたことに感謝申し上げ、出向者報告を閉じさせていただきます。

出向記録

年月日	場所	内 容
2023.11.23	神戸ポートピアホテル	第1回財務規則審査会議委員会
12.11	Zoom(ハイブリット形式)	第2回財務規則審査会議
2024.01.15	Zoom(ハイブリット形式)	第3回財務規則審査会議
02.10	神戸ポートピアホテル	第2回財務規則審査会議委員会
02.22	Zoom(ハイブリット形式)	第4回財務規則審査会議
03.12	Zoom(ハイブリット形式)	第5回財務規則審査会議
04.12	Zoom(ハイブリット形式)	第6回財務規則審査会議
05.16	Zoom(ハイブリット形式)	第7回財務規則審査会議
06.10	Zoom(ハイブリット形式)	第8回財務規則審査会議
07.10	Zoom(ハイブリット形式)	第9回財務規則審査会議
09.11	Zoom(ハイブリット形式)	第10回財務規則審査会議
10.10	Zoom(ハイブリット形式)	第11回財務規則審査会議
11.11	Zoom(ハイブリット形式)	第12回財務規則審査会議

9. 監 事 報 告

監事

川越 勇輔



植野 泰幸



2024 年度の監事として、組織としての運営の決定機関である理事会において、議論されるべき各事業の目的、事業内容、予算執行、決算が的確に行われているのかを確認させていただきました。また、理事長公室並びに各委員会が企画運営する例会、事業の円滑な運営や新たなる試みに対して、それらが審議通りに行われているのか、青年会議所運動として適正かどうかという点に意識を置きながら監事をさせていただきました。特に、今年度の委員長は 6 名中 5 名が初委員長でしたので、私たち監事が培ってきた経験や知識を皆様にお伝えするとともに、客観的な視点からの質問、意見をさせていただきました。その中、今年度はスムーズに全ての事業を実施することができたことは、理事会構成メンバーの一員として大変うれしく思います。三役の皆さま、そして公室長、委員長の皆様、一年間本当に疲れさまでした。一般社団法人淡路青年会議所が来年度も変わらず、淡路島の未来のために邁進していただきますことを祈念いたしまして、監事報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

10. 会員動行

1. 2023年度末 会員数

正会員 51名 特別会員 351名 準会員 1名

2. 2024年度入会者

新入会者名	推薦者		
天野 将貴	伊東 明信	横山 泰明	松田 恒久
池田 智明	横山 奈津紀	小川 優一	中山 貴子
井本 貴大	松田 恒久	原 亜里沙	小川 優一
上田 誠也			
植松 大輝	川越 勇輔	戸田 敦大	伊東 明信
於田 寛史	木戸 隆一郎	藤野 雅大	坂本 敏行
尾植 友貴	植野 泰幸	伊東 明信	松田 恒久
片山 純平	伊東 明信	原 亜里沙	松田 恒久
堤 直也	横山 泰明	伊東 明信	松田 恒久
原田 京典	横山 泰明	松田 恒久	坂本 敏行
前川 昌哉	横山 泰明	伊東 明信	坂本 敏行
山下 恭平	横山 泰明	伊東 明信	松田 恒久
山本 純也	横山 泰明	伊東 明信	小川 優一
横山 夕納	横山 泰明	戸田 敦大	原 亜里沙

3. 2024年度 会員数

正会員 43名 特別会員 361名

4. 2024年度 退会者

立田 淳子

5. 2024年度 休会者

なし

6. 2024年 物故会員

桑島 壮介

7. 2024年度 除名者

百合 修一

8. 2024年度末会員数

正会員 53名 特別会員 360名 準会員 2名

9. 2024年度 卒業生

赤澤 慎一、池田 智明、伊山 真司、江本 曜宜、太田 康文、岡本 和也、坂本 敏行
南部 真希也、藤野 雅大、松本 和幸、三澤 大祐、宮本 将史、横山 奈津紀

10. 2024年度 役員選考委員

伊東 明信、伊山 真司、植野 泰幸、川越 勇輔、木戸 隆一郎、坂本 敏行、戸田 敦大、
横山 奈津紀、横山 泰明、

11. 2024年度(一社)法人淡路青年会議所役員名簿

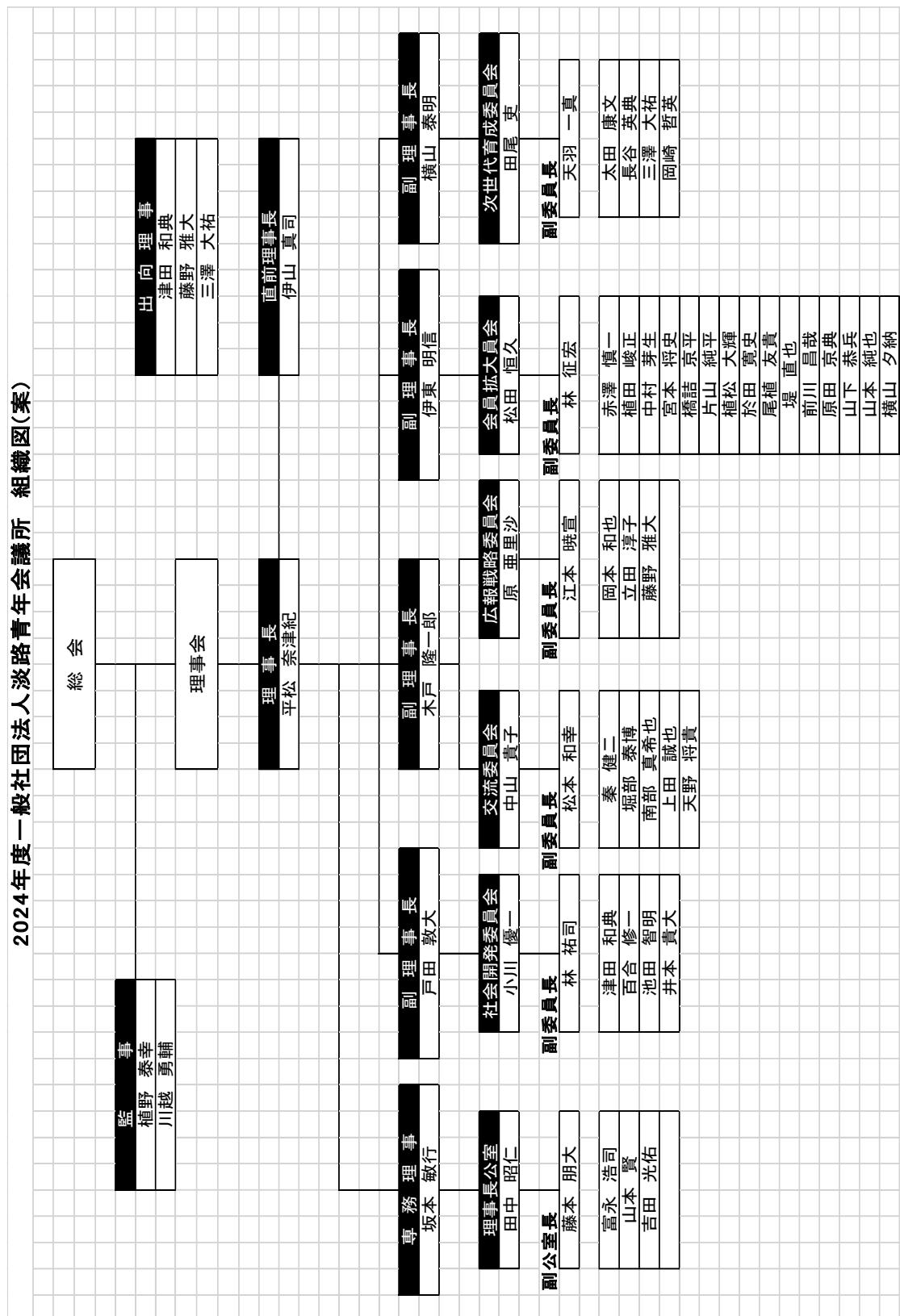
【理 事 長】	横山 奈津紀
【直前理事長】	伊山 真司
【監 事】	植野 泰幸
【監 事】	川越 勇輔
【副 理 事 長】	戸田 敦大
	伊東 明信
	木戸 隆一郎
	横山 泰明
【専 務 理 事】	坂本 敏行
【出 向 理 事】	津田 和典
【出 向 理 事】	藤野 雅大
【出 向 理 事】	三澤 大祐
【理 事】	田中 昭仁
	小川 優一
	田尾 吏
	原 亜里沙
	中山 貴子
	松田 恒久

12. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出向先	役職	出向者氏名
会員拡大委員会	委員	川越 勇輔
日本JC連携推進会議	議員	田尾 吏
JC運動拡大会議	委員	松田 恒久
兵庫の未来創造委員会	委員	三澤 大祐
兵庫アカデミー委員会	委員	藤本 朋大
	委員	中村 芽生
	委員	立田 淳子
JCプランディング戦略委員会	委員	原 亜里沙
ブロック大会運営委員会	委員	藤野 雅大
財務規則審査会議	議員	津田 和典

13. 組織及び委員会構成



14. 褒賞一覧

褒章委員会

横山 奈津紀 理事長 伊山 真司 直前理事長
川越 勇輔 監事 植野 泰幸 監事
戸田 敦大 副理事長 伊東 明信 副理事長
木戸 隆一郎 副理事長 横山 泰明 副理事長
坂本 敏行 専務理事

1. 最優秀委員会賞 交流委員会
2. 優秀委員会賞 会員拡大委員会
3. 最優秀事業賞 社会開発委員会
(淡路島の未来のカタチ
～ユニバーサルアイランドへの礎～)
4. 優秀事業賞 次世代育成委員会 (わんぱく相撲)
5. 最優秀会員賞 上田 誠也 (交流委員会)
6. 優秀会員賞 池田 智明 (社会開発委員会)
7. 最優秀新会員賞 秦 健二 (交流委員会)
8. 優秀新会員賞 岡崎 哲英 (次世代育成委員会)
9. 特別功労賞 横山 奈津紀 (理事長)
伊山 真司 (直前理事長)
9. 例会出席奨励賞 横山 奈津紀 伊山 真司 植野 泰幸 川越 勇輔
戸田 敦大 伊東 明信 木戸 隆一郎 横山 泰明
坂本 敏行 田中 昭仁 藤本 朋大 小川 優一
林 祐二 津田 和典 池田 智明 原 亜里沙
藤野 雅大 中山 貴子 上田 誠也 松田 恒久
赤澤 慎一 中村 芽生 計 22 名
10. 卒業生感謝状
赤澤 慎一、池田 智明、伊山 真司、江本 晓宜、太田 康文
岡本 和也、坂本 敏行、南部 真希也、藤野 雅大、松本 和幸
三澤 大祐、宮本 将史、山本 賢、横山 奈津紀 計 14 名

15. 決算報告

賃借対照表

令和6年12月31日現在

(単位:円)

科目	決算
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	11,398,545
未収金	
前渡金	
立替金	
保管保証金	
流動資産合計	11,398,545
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産合計	
(2) 特定財産	
特定財産合計	
(3) その他固定資産	
什器備品	57,423
有価証券	10,000
敷金	
その他固定資産合計	67,423
資産合計	11,465,968
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	
2. 固定負債	
固定負債合計	
負債合計	
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	
2. 一般正味財産	
(うち基本財産への充当額)	
(うち特定財産への充当額)	
一般正味財産合計	11,465,968
負債及び正味財産合計	11,465,968

正味財産増減補正予算書(案)

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

科 目	決算額 R6.1.1～R6.12.31	補正予算額 R6.1.1～R6.12.31	修正予算額 R6.1.1～R6.12.31	予算額 R6.1.1～R6.12.31	決算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R5.1.1～R5.12.31	備考
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 受取入会金	650,000	100,000	50,000	50,000	400,000	50,000	13名×¥50,000
② 受取会費	7,535,000	7,265,000	7,180,000	7,180,000	7,885,000	7,310,000	
正会員受取会費	7,235,000	6,965,000	6,880,000	6,880,000	7,615,000	7,040,000	43名×¥160,000/1名×¥85,000/1名
その他受取会費	300,000	300,000	300,000	300,000	270,000	270,000	×¥75,000/1名×¥60,000/9名×
③ 事業収益	2,155,000	1,920,000	0	0	1,221,000	0	卒業生10名×¥30,000
受託事業収益	0	0	0	0	0	0	
登録料	1,920,000	1,920,000	0	0	966,000	0	
その他事業収益	235,000	0	0	0	255,000	0	
④ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	
⑤ 寄付金	500,000				420,000		
⑥ 雑収益	15,162	500	500	500	4,075	500	
受取利息	940	500	500	500	105	500	
配当金	400	0	0	0	400	0	
雑収益	13,822	0	0	0	3,570	0	
経常収益計	10,855,162	9,285,500	7,230,500	7,230,500	9,930,075	7,360,500	
(2) 経常費用							
① 事業費							
給料手当	0	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	
会議費 費借料	743,766	836,865	852,865	843,565	642,305	697,150	
消耗品費	350,488	387,962	327,295	326,659	390,551	583,464	※予備費を計上する
レンタル料	1,000	80,000	80,000	80,000	215,000	0	
食糧費	28,800	20,000	20,000	20,000	20,130	0	
人件費	0	0	0	0	0	0	
支払手数料	170,000	170,000	150,000	150,000	150,000	0	
講師関係費	347,729	1,385,690	885,690	795,000	422,835	690,000	
謝礼金	1,001,760	150,000	150,000	250,000	890,580	1,030,000	
資料作成費	662,393	342,790	342,790	341,800	774,850	375,000	
広告普及費	161,915	192,500	192,500	192,500	275,691	115,000	
報告書作成費	990	990	990	990	4,670	0	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	
交際費	1,665,500	1,665,500	0	0	966,000	0	
保険料	8,625	10,000	10,000	10,000	9,760	0	
印刷製本費	456,302	377,250	377,250	377,250	350,000	0	
通信運搬費	17,918	14,537	14,704	14,620	17,086	25,756	
支払負担金	0	0	0	0	10,000	0	
雑費	4,653	47,100	97,100	85,450	6,670	73,000	
事業費計	5,621,839	5,681,184	3,501,184	3,487,834	5,146,128	3,589,370	

科 目	決算額 R6.1.1～R6.12.31	補正予算額 R6.1.1～R6.12.31	修正予算額 R6.1.1～R6.12.31	予算額 R6.1.1～R6.12.31	決算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R5.1.1～R5.12.31	備考
②管理費							
会議費	0	0	0	0	0	0	
給料手当	1,106,528	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,120,206	1,100,000	
退職給付引当金							
福利厚生費	134,109	160,000	160,000	160,000	132,410	150,000	交通費・雇用保険料他
涉外費	313,289	400,000	400,000	400,000	286,168	300,000	要員40,000×各種登録料108,000+明石周年￥100,000
慶弔費	0	100,000	100,000	100,000	48,000	100,000	
減価償却費	57,420	100,000	100,000	100,000	76,562	100,000	
消耗品費	461,062	500,000	500,000	500,000	199,948	500,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	
通信費	323,146	400,000	400,000	400,000	392,614	300,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	8,470	30,000	30,000	30,000	32,505	30,000	
賃借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	￥100,000×12ヶ月
光熱水料費	362,585	390,000	390,000	390,000	335,866	380,000	
保険料	25,220	26,000	26,000	26,000	25,220	26,000	火災保険
謝礼金	16,500	20,000	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	22,000	50,000	50,000	50,000	0	50,000	
租税公課	34,662	40,000	40,000	40,000	35,340	40,000	印紙代・県民税(￥22,000)
雑費	114,781	120,000	120,000	120,000	123,701	100,000	登記代・振手・備品
小計	4,179,772	4,636,000	4,636,000	4,636,000	4,025,040	4,396,000	
③負担金							
JCI会費	96,148	96,148	96,148	96,148	97,110	94,952	￥2,236×43名
日本JC会費	245,000	245,000	245,000	245,000	255,000	250,000	￥30,000+￥5,000×43名
国際協力資金	78,475	78,475	78,475	78,475	82,125	80,300	￥5×365日×43名
近畿地区会費	79,400	79,400	79,400	79,400	83,000	81,200	￥2,000+￥1,800×43名
兵庫ブロック会費	255,000	255,000	255,000	255,000	265,000	260,000	￥40,000+￥5,000×43名
淡路島日本遺産委員会							
小計	754,023	754,023	754,023	754,023	782,235	766,452	
管理費計	4,933,795	5,390,023	5,390,023	5,390,023	4,807,275	5,182,452	
経常費用計	10,555,634	11,071,207	8,891,207	8,877,857	9,953,403	8,751,822	
当期経常増減額	299,528	△ 1,785,707	△ 1,660,707	△ 1,647,357	△ 23,328	△ 1,391,322	
2.経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	
経常外費用増減額							
一般正味財産増減額	299,528	△ 1,785,707	△ 1,660,707	△ 1,647,357	△ 23,328	△ 1,391,322	
一般正味財産期首残高	11,166,440	11,166,440	11,166,440		11,189,768		
一般正味財産期末残高	11,465,968	9,380,733	9,505,733		11,166,440		
Ⅱ正味財産期末残高	11,465,968	9,380,733	9,505,733		11,166,440		

2024年度 財産目録

2024年12月31日現在
単位：円

科 目		数 量	金 額	摘 要
流動資産	現金・預金	計	11,408,545	
	現 金		0	
	淡路信用金庫 本町支店 普通預金		3,862,748	No.0454865
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		2,830,195	No.0300206
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		1,011,353	No.0319813
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		320,078	No.0319821
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		883,606	No.0321012
	淡路信用金庫 本町支店 普通預金		2,490,565	No.0749012
	淡路信用金庫 本町支店 有価証券		10,000	No.21942

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……旧定率法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
パーテーション	271,950	271,949	1
コピー機	432,000	431,999	1
コピー機	550,000	492,579	57,421
合 計	1,253,950	1,196,527	57,423

自 2024年 1月 1日
至 2024年12月31日

2024年度事業収益明細一覧

2024年度 委付金収入明細一覧

寄付金	寄付金	0					
一般寄付金		200,000					
		300,000					
小計		500,000					
合計		500,000					
						卒業生記念品10名×￥30,000	08会

2023年度 物 品 目 錄

2023年12月31日現在
単位：円

科 目	数 量	金 額	摘要
物 品			
保管庫・スチール書庫	1 個	75,000	
旗三脚セット	1 セット	10,000	
電話機	2 台	144,200	1995年度購入分
デスクコーナー	1 台	75,190	1996年度購入分
デスク	1 台	95,069	1996年度購入分
デスク	1 台	82,297	1996年度購入分
デスク	1 台	95,790	1996年度購入分
パソコンラック	2 台	16,171	1996年度購入分
チェア	1 脚	28,634	1996年度購入分
チェア	2 脚	43,878	1996年度購入分
チェア	1 脚	20,600	1996年度購入分
パーテーション	1 脚	133,200	1996年度購入分
ウォールロッカー	1 台	37,389	1996年度購入分
両開き保管庫	3 台	81,267	1996年度購入分
引違いガラス保管庫	3 台	100,425	1996年度購入分
深型保管庫	3 台	79,413	1996年度購入分
会議テーブル	2 台	68,392	1996年度購入分
会議椅子	1 2脚	97,644	1996年度購入分
ホワイトボード	1 枚	17,325	1996年度購入分
月間予定表	1 枚	15,398	1996年度購入分
月間掲示板	1 枚	31,734	1996年度購入分
トランシバー	7 台		某氏寄贈
ハンドマイク	1 台	20,611	2000年度購入分
国旗	1 旗	7,350	2000年度購入分
会議テーブル	1 5台	155,000	2003年度購入分
パイプ椅子	2 0脚	29,200	2003年度購入分
ファンヒーター	2 台	51,600	2003年度購入分
玄関表札	1 基	100,000	2003年度卒業生寄贈
ゴングマーク	1 個	10,000	2006年度購入分
卓上旗セット	1 式	7,840	2006年度購入分
JCIプレート	1 基	19,950	2006年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1 式	19,425	2006年度卒業生寄贈
耐火金庫	1 台	81,900	2006年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1 台	84,000	2006年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	159,500	2007年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1 台	26,800	2008年度購入分
空気清浄機	2 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
液晶テレビ	1 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1 台	180,000	2010年度購入分
掃除機	1 台	13,440	2010年度購入分
パーテーション	2 台	99,750	2011年度卒業生寄贈
JCI旗	1 枚	20,000	2012年度卒業生寄贈
日の丸旗	1 枚	9,000	2012年度卒業生寄贈
awaji旗	1 枚	25,000	2012年度卒業生寄贈
のぼり（淡路JC）	1 0枚	29,000	2013年度購入分
FAX	1 台	47,250	2014年度卒業生寄贈
パソコン	1 台	98,280	2014年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	108,000	2015年度卒業生寄贈
パソコンプリンター	1 台	50,760	2015年度卒業生寄贈
卓上旗セット	1 台	8,364	2016年度購入分
JCI旗	1 枚	28,500	2016年度卒業生寄贈
冷蔵庫	1 台	24,084	2018年度購入分
淡路の未来フォーラムのぼり	1 0枚		2018年度某氏寄贈
ボール	1 0本		2018年度某氏寄贈
スタッキングチェア	2 0脚	172,800	2019年度卒業生寄贈
のぼり（淡路JC）	1 0枚	20,000	2019年購入分
のぼり（ともいく事業）	4 枚		2019年購入分
アクリル板	2 0枚	110,000	2020年購入分
換気扇・空気清浄機	各 1 台	116,666	2020年購入分
ブレジデンシャルリース	1 個	140,000	2020年度卒業生寄贈
ブレジデンシャルリースケース	1 個	27,000	2020年度卒業生寄贈
演台	1 台	15,290	2021年度購入分
旗三脚	1 台	11,990	2022年度購入分
ピックバナースタンド	1 式	77,550	2022年度購入分
パナソニックデジタルビデオ	1 台	36,080	2021年度卒業生寄贈
三脚	1 台	7,693	2021年度卒業生寄贈
キャノン一眼レフカメラ	1 台	115,819	2021年度卒業生寄贈
月間スケジュールボード	1 枚	13,042	2022年度購入分
SDカード	2 枚	8,756	2022年度購入分
外付けハードディスク/カードリーダー	各1個	15,252	2022年度購入分
合 計		3,871,558	

16. 監査報告

一般社団法人淡路青年会議所
代表理事 横山 奈津紀 殿

私たち監事は、令和5年1月1日から令和6年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示してしるものと認めます。

令和6年 月 日

一般社団法人淡路青年会議所

監事

印

監事

印

17-1. 資料 事業別写真

1月例会

一路平安～ひとすじに続く道～



2024 年度 一般社団法人淡路青年会議所 新年式典



2月例会

全員拡大～みんなで拡大意識を高めよう～



3月例会

衆力功をなす～Let's Link Up～



4月例会

To change your point of view～自身をブランディング化～



第29回わんぱく相撲淡路場所



5月例会

新たなまちづくり～AWAJI ブランド創出～



6月例会

承前啓後～未来を切り開け～



7月例会

Think about our future～淡路島の未来をかんがえよう～



8月例会

肝胆相照～New Discoveries, New Bonds～

・第21回臨時総会



淡路島の未来のカタチ～ユニバーサルアイランドへの礎～



9月例会

スキルアップ～For Our Future～



10月例会

自他の架け橋～Discover yourself～



11月例会

未来に繋ぐ思いを託す



12月例会

感謝～逢離我道～・第23回定期総会



18-2. 資 料 新聞記事切抜

島内児童が競う相撲大会

福良小で来月、30日まで参加募る

淡路島の小学生たちが競

いる。

う「わんぱく相撲淡路場所」が5月12日、南あわじ市福良乙の福良小学校で開かれます。主催する淡路青年会議所は、島内の小学生を対象に30日まで参加者を募つて

日本の伝統的な競技、相撲を通じて、子どもに努力の大切さや思いやりの心を育んでもらおうと、同会議所が開き、29回目となる。小学1～3年は男女混合で、同4～6年は男女別でそれぞれ行う。4～6年の



参加を呼びかける淡路
青年会議所の横山奈津
紀理事長（中央）ら＝洲
本市桑間

男女各優勝者は6月の県大会に進む。県大会で優秀な成績を残せば、男子は東京で、女子は愛媛で開かれる全国大会に出場できる。

参加希望者は、学校などで配られる参加申し込み・同意書に記入し、同会議所まで郵送またはファックスで送る。同会議所のホームページ

（古田真央子）
99・22・6611
事長（39）は「島内の多くの子どもたちに参加してもらい、人生の思い出に残る経験にしてほしい」と呼びかけている。同会議所☎07

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

神戸新聞 4月23日

2025年度 事業計画書

2025年1月1日～2025年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一般社団法人
淡路青年会議所

2025年度 スローガン

BREAK THROUGH

～挑戦のその先へ～



2025年度 理事長
横山 泰明

1. 2025 年度 理事長所信

はじめに

日本国際博覧会(大阪・関西万博)が開催される本年、淡路島は観光地としてさらに注目を浴びるに違いありません。しかしながら人口の年齢別比率が変化し 65 歳以上の高齢者が全人口の約 30%、そのうち 75 歳以上の後期高齢者であるいわゆる「団塊の世代」が全人口の約 18% となり、人材不足や後継者問題から日本の社会構造や社会体制が大きな分岐点を迎えるとしています。今後も 65 歳以上の高齢者人口と 75 歳以上の後期高齢者人口の増加はとどまるところがなく、2040 年にピークを迎えると予測されております。

これまで、長い時間議論されてきた問題が現実となり、私たちの前に立ちはだかってきます。それは淡路島も例外ではなく、少子高齢化がもたらす、労働者不足、医療不足、教育機関の縮小、伝統・文化の担い手不足など様々な問題と直面し、それらの問題に我々は立ち向かっていかなければなりません。単なる行政の問題として目をつむるのではなく、今を担っている我々がこれから未来を想い、課題に対し勇気を持って立ち向かうべく議論し、魅力あるこの素晴らしい淡路島を持続可能な活力ある地域となるよう行動することが必要不可欠であると考えます。

我々、一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」の基本理念のもと、どのような時代であろうとも先輩諸兄姉が淡路島とその未来のことを考え活動や運動を展開してまいりました。その積み重ねられてきた志と伝統は 63 年目に至る本年度も継承し続けるとともに、時代の変化を恐れず目的意識を常に持ち続けられる組織としてさらなる発展を目指してまいります。

淡路島の未来に向けて

我々が住む淡路島はこれまでの関西地域の顧客を中心の観光地ではなく、さらなるインバウンドの獲得や認知度の範囲を広げ、誘客につなげる観光戦略が必要となります。観光地として武器であった、自然豊かな風景や様々な食材、くにうみ神話に代表される文化財などの魅力に加え、観光スポットの整備、宿泊施設の増加といった、元々あった魅力と新しく出来た魅力の融合により淡路島の新たな魅力の創出へつながっていきます。そして、日本国際博覧会(大阪・関西万博)といった外的な要因と淡路島自身の内的な要因とが組み合わさる本年は、幅広い人が訪れる絶好のチャンスであり、地域として淡路島はさらなる発展を遂げる分岐点の年となるはずです。そのような追い風は淡路島をどこに向かわすのか。多くの注目が集まっているのも事実であります。

このような状況だからこそ、島民一人ひとりが未来を見定めた決断をし、現状を打破しなければなりません。外的な要因による上昇気流に乗るだけではなく、内側から壁を突破

し、より良い未来を多くの人の手でつかむことが必要です。これまで先送りにされてきた社会問題も内包する地域の課題を淡路島が先頭となり、未来を指し示していく必要があり、またその中にこそチャンスがあります。さらに、淡路島の未来は淡路島島民が決めてこそ、未来への羅針盤となることを確信しております。私たち淡路青年会議所が様々な角度から淡路島の未来への方向を指し示しその先頭に立ち自ら行動することで、島民一人ひとりが当事者意識をもち未来の淡路島を考えられる環境づくりをしてまいります。

さあ、明るい豊かな淡路島になるよう共に行動しましょう。

共感を拡げる！！

例年よりも少ない人数でスタートする本年は、新しい挑戦の年となります。これまでにない組織規模と経験が少ないメンバーが多いからこそ、過去の経験に囚われない新しい活動を行わなければなりません。20歳から40歳までという年齢制限のある組織である青年会議所だからこそ、この挑戦は今後の成功へつながるはずです。

現状の壁を突破し、新しい組織へと生まれ変わらせるためには、組織の新陳代謝が必要であり、より多くの人に共感を持っていただける組織とならなければなりません。そのためには、メンバー一人ひとりが淡路青年会議所の魅力を理解し、そのことを大勢の方々に伝える想いを持つことで共感を広めることができます。一人でも多くの仲間が増えることは、組織の強化に繋がり、より一層の運動発信につながると確信しております。明日の淡路青年会議所を強固な組織にするため、本年度もさらなる拡大活動をしてまいります。そして、組織のトップである私自身が先頭となり、拡大へ尽力するとともに、様々な方面へのご協力をお願いしてまいります。

魅力を発信

淡路青年会議所はホームページやSNSなど様々な媒体を以て、情報発信を行ってまいりました。現在の情報化社会では、地域の理解、協力を得るためにも情報発信は大きな影響力を持っており、必要不可欠なものです。そして、自分たちの想いを発信するためには、組織のプランディングを行う必要があるのではないかと考えます。より多くの人に、私たちがどのような事業を企画、運営しているかなどを発信し、この組織の魅力をより強く伝えてまいります。また、地域や人を巻き込み、私たちの活動の目的や趣旨を周知していくことで、興味を持っていただけるように、様々な方法や手法を駆使した魅力発信を行ってまいります。これらを行うことにより、今まで私たちと関りがなかった方々や、これまで関わってご協力いただいた方々からもより理解と信頼、影響力がある淡路青年会議所に進化すると確信しております。

人を磨く組織として

どれほど時代が移り変わっても、人と人との繋がりをなしには個人としても組織としても成長を望むことはできません。特に、時間をかけることなく人が成長することは叶いません。メンバー同士がこれまで以上に密に関わり、様々な価値観を理解し合う必要があります。また、より多くの時間をメンバーで共有し、互いの意見を認め合える話し合いや議論を行うことは、多様性や相互理解を深めた JAYCEE を育成することに繋がり未来の仲間を増やすきっかけにもなります。まだ見ぬ新たな仲間が JAYCEE としての魅力を持つメンバーとして成長することは、個人だけではなく組織としても成長できると確信しております。そして、様々な青年経済人が集まる淡路青年会議所は、明日の淡路島の未来を考え、未来を担う人財を育成し、地域貢献へとつなげる使命があります。明日を導くリーダーとして成長し、ビジネス面でも人間的にも自己研鑽ができる学び舎としての担いを全うできる活動を行ってまいります。

さいごに

青年会議所には、社会貢献できる場があります。
青年会議所には、己が成長できる機会があります。
青年会議所には、志を同じうする同志との出会いがあります。
そして、青年会議所には、明るい豊かな社会の実現に導く力があります。
明日の淡路島を担う我々青年会議所は「奉仕、修練、友情」の三信条を掲げ運動しております。すべての活動や運動が、先輩諸兄姉から受け継がれてきたこの三信条につながっています。この三信条は未来を担う青年経済人の行動指針になりうるものであり、これからも未来へつなげていきたいと考えます。本年度理事長として、すべてのメンバーがこの青年会議所という素晴らしい団体に誇りを持ち団結し力強い運動発信を約束いたします。
そしてその活動こそが「明るい豊かな淡路島」の実現につながることを確信しております。

2. 基本方針

一、自分の限界に挑戦しよう！

一、仲間と絆を深めよう！

一、感動を共感しよう

3. 副理事長抱負

副理事長 植野 泰幸



伊東 明信



木戸 隆一郎



小川 優一



我々一般社団法人淡路青年会議所は、創立より「淡路はひとつ」を基本理念のもと、数々の事業を通してその実現に向けて活動してまいりました。先輩諸兄姉が築き上げてこられた先駆的な活動の歴史や伝統を継承し、各委員会が理事長の指示する方向性を見失わずに与えられた役割を全力で取り組んでいけるよう、我々副理事長が各委員長と情報共有し円滑な活動ができる必要があります。

淡路 JC は様々な問題に対して、理事長が指示する淡路島の未来を見据えた方針をメンバー全員が理解して問題解決に向けた持続可能な活動をしていくべきと考えます。まず経験の少ない委員長や入会年度が浅いメンバー多い中、やる気に満ちあふれた姿勢を尊重しつつ、不安を取り除きどのように行動して行くかを導いていきます。我々も初心に帰り先人たちが築いて来た JAYCEE としての在り方や自身が経験し学んだ知識を委員長はじめメンバーへと伝えてまいります。そして我々副理事長が、自分自身を高めるチャレンジ精神を忘れず、メンバー全員との絆を深め、活動で得た貴重な経験を皆で分かち合う事を意識し、淡路島のより良い発展のための活動を率先して取り進めています。また次世代に繋がる組織運営のために会員拡大も率先して行い、先輩諸兄姉から受け継いできた伝統と志を次代へつなげるために積極的に行動してまいります。副理事長として、組織全体が一つの方向を目指して活動出来るよう、挑戦心を持ちながら革新的なアイデアを打ち出し、最高の仲間と出会い最高の活動を行う淡路 JC を目指します。

我々副理事長は理事長の指示する方針とこの淡路島での組織の存在意義をメンバー全員に共有し JC 活動に邁進できるようサポートを行うことが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信しております。

基本方針

1. 理事長の目指す未来実現に向けて、自身の可能性を広げるために挑み続けます。
2. メンバー同士の様々な価値観を相互に理解し組織の団結力を高めます。
3. 淡路 JC の発展の為、様々な活動を通して得た感動を享受します。

4. 専務理事抱負

専務理事 津田 和典



我々一般社団法人淡路青年会議所は、「淡路はひとつ」という基本理念のもと、時代や社会、文化や価値観が変化していく中で淡路島のよりよい未来を考え、活動を続けてまいりました。今後も淡路JCが淡路島の未来を想い、課題に対し勇気を持って立ち向かうべく議論し、魅力あるこの素晴らしい淡路島を持続可能な活力ある地域となるよう行動する組織づくりを行うことが必要であると考えます。

組織とは特定の理念、目標を持ち、それらを達成するために人々が共同で活動を行うための体制のことを指し、「組織づくり」を行う為にも、まずメンバー全体へ理事長所信を共有する必要があります。専務理事として三役間での情報共有や意思疎通を密に行い、またメンバー一人ひとりへ目配り心配りをしながら、コミュニケーションを図り、理事長所信の共有を行います。そうすることで、組織全体が同じ方向を向き、JC活動に取り組むことができると考えます。それに加えて、メンバー同士が真剣に向き合い、議論を交わすことのできる環境づくりを行う必要があります。まずは議論の場である理事会において、本質的な議論が行われ、有意義な会議となるように三役会で定款や運営規定の遵守、コンプライアンスの徹底を図るための議案確認を行い、会議が円滑に進むよう運営を行ってまいります。また共に淡路島の未来を考える仲間の輪を拡大していく必要があります。上記を遂行することで淡路JCが多くの人々に共感を持たれる団体となり、JC活動に邁進することで、多くの仲間が増やすきっかけとなり、さらにメンバー個々の成長へと繋がると考えます。

理事長が思い描く淡路島の未来をしっかりと見て、専務理事の役割に徹し、淡路JCのすべての活動をサポートし成功させることで、メンバー全員が一丸となって挑戦し続ける環境ができ、「明るい豊かな淡路島」の実現へ進むと確信しております。

基本方針

1. 理事長の所信を完遂するために、専務理事として挑戦し続けます。
2. 情報をしっかりと共有し、円滑な組織運営を行います。
3. メンバー同士が真剣に向き合い、想いを共感し合える環境を目指します。

5. 監事抱負

監事 横山 奈津紀 監事 川越 勇輔



本年度、一般社団法人淡路青年会議所は創立より 63 年目を迎えます。昨年 14 名の卒業生を輩出しながらも、それに等しい数の新入会員を迎えることができました。組織が代謝し若く、時代に即した形に変わっていく一方で、経験豊かなメンバーが多く卒業することで淡路 JC が持つアイデンティティ（歴史や文化）の継承が課題となっています。故に横山理事長をはじめとする三役執行部の皆様のみならず、私たち監事の役割も非常に大きいものであると自覚をしています。

青年会議所という組織である以上ルールに基づいた運営が必要不可欠です。予算やコンプライアンスの順守などに加えて、それぞれの委員会が役割を的確に遂行し「明るい豊かな淡路島」実現に向かった活動が行われているかを監事として見極め、冷静に監査してまいります。今まで経験してきたことを基に、私たちの淡路 JC・JC 活動への想いをより多くのメンバーに伝え、2025 年すべての事業が成功に向かうよう時には厳しく叱咤激励をし、またメンバーにアドバイス等も積極的に行ってまいります。一年間メンバーの皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひ致します。

6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室 公室長 藤本 朋大



我々一般社団法人淡路青年会議所は創立当初より「淡路はひとつ」という基本理念のもと活動や運動を行ってきました。近年、社会環境の変化に伴い、高齢化や後継者不足といった問題が叫ばれる中、淡路JCは地域社会のため、課題解決に取り組まなければなりません。そのために、理事長公室の役割として、各委員会の活動を円滑に進め、理事長の所信に基づいた組織運営をサポートする必要があります。

理事長公室では、理事長の秘書的業務および専務理事の補佐として、基礎業務を迅速かつ正確に行います。会議運営においては、各委員会との連携強化を図り、事前の設営をはじめ三役関係、委員長、そして、理事の間で意見がスムーズに共有されるように調整致します。議論が活発に行われる環境を整えるために、資料の事前確認や情報の共有を徹底し、メンバー全員が共通認識を持てるように努めます。また、委員長同士のコミュニケーションを活性化させることで、各委員会の進捗や課題を把握し、柔軟な対応を可能にします。

さらにメンバーの意見や提案を積極的に聞き取り吟味し、理事長の所信に沿った活動が展開できるようサポートします。どれほど時代が移り変わったとしても人ととの密な繋がりをなくしては個人としても組織としても成長はありません。メンバーの多様性をお互いが認め合い、それぞれの限界に挑戦できる環境を整えることで組織全体として最大のパフォーマンスが發揮されることだと思います。この思いのもとメンバー同士が互いに協力し合う強固な関係を築くことで、組織全体の士気が高まります。

個々人の団結が強まった上で持続可能な組織運営が可能となり、組織全体が発展します。組織運営がさらに円滑になり、結果として、淡路島全体が活気に満ちた状態で「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がっていることと確信しております。

スローガン

温故知新 ～伝統を守り、そして挑戦する～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）	備考
・例会の企画・設営及び運営	1月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	20,500	例会設置費
・例会の企画・設営及び運営	3月	例会の企画・設営及び運営(LOM 役員懇談会)	正会員 準会員	68,000	例会設置費
・例会の企画・設営及び運営	6月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	13,500	例会設置費
・会員名簿の作成	1月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	368,000	名簿作成費
			合計	470,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（3回）	1, 3, 6月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダנסの案内及びフォロー	通年	
・会員名簿の作成	1月	
・LOM 役員懇談会資料作成並びに企画・設営及び運営	3月	
・理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐	通年	
・一般庶務事項及び発送文章の管理	通年	
・選挙管理委員会の設置	6月	
・財務に関する処理及びコストダウンの調査	通年	
・年会費・入会金の調査	通年	
・会費の徴収	前・後期	
・涉外業務全般	通年	
・事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・理事会の設営及び議事録の作成	通年	
・三役会の設営	通年	
・通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・公室活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮詢に関する答申業務	通年	

社会開発委員会 委員長 吉田 光佑



今こそ、淡路島は動き出すときです。昨今問題視されている少子高齢化や過疎化などは有無を言わさず我々に降りかかって来る危機的状況です。デジタル社会化により、暮らしやすい環境は整いはじめておりますが、地域間での個々のつながりが希薄化し交流が少なくななりつつあります。そのようなことから我々淡路JCは、地域に目を向ける人づくりを地域協働で取り組む必要があります。

淡路島は、地域への新たな関心を喚起する時期に来ています。働き方の変化や生活様式の多様化等に伴う地域生活における日常的な関わりや、ふれあいの機会の減少等から身近な地域社会における繋がりを避ける傾向が見られ、結果として地域における人と人との繋がりの減少が進んでいます。そのような時だからこそ官民一体となり、島民一人ひとりが地域の未来を真剣に考え、想い描くるべき姿を明確化し、行動することの重要性を認識する必要があります。まちに住む人々が安全で暮らしやすい環境を整備することが、持続可能なまちづくりの土台となりより発展的な議論を行うことができます。我々淡路JCの「淡路はひとつ」の基本理念のもとにした、これまでの運動や事業における青年会議所活動の歴史や経験を活かし、この地が抱える課題の解決に向けて多角的な視点を提供し、年配から若年層、子育て世代に至るまでが参加出来るような機会を創出することによって地域に対しての関心をより高め、島民の様々な立場や意見を反映させる契機となるよう行動してまいります。

我々、淡路JCが志同じくするもの相集い力を合わせ、島民一人ひとりが当事者意識を持って共に共感する新しい意識を持った個々の創出の第一歩を築き上げることが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

スローガン

点滴穿石 ～光輝く団結の地へ～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額	備考
・例会の企画・設営及び運営	7月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	17,580	例会設置費
・例会の企画・設営及び運営	10月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	133,530	例会設置費
・社会開発事業	1,4月	社会開発事業の企画・設営及び運営	正会員 準会員 淡路島島内の住民	720,000	事業費
			合計	871,110	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営	7・10月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・社会開発事業の企画・設営及び運営	1・4月	社会開発事業企画・設営及び運営
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

次世代育成委員会 委員長 中山 貴子



私たち一般社団法人淡路青年会議所は、創立以来「淡路はひとつ」という基本理念のもと、日々の活動や運動を通して、社会の変化に対応できるリーダーを輩出し続けるためには、多様な活躍の場を提供することが重要です。これからの中堅世代にとって新しい発見やさらなる成長の機会を与えることが不可欠です。共に未来を担うリーダーたちが多角的な経験を積みながら成長できる環境を整える必要があると考えます。

当委員会では次世代育成に向けた事業及び例会を実施してまいります。今年で30年の歴史を迎える「わんぱく相撲淡路場所」は、これまで多くの子どもたちが参加し、日本の伝統競技を通じて礼儀や作法を学ぶ貴重な機会を担ってきました。記念すべき第30回目の「わんぱく相撲」を通じて新たな気づきや勇気を得て、次世代を担う子どもたちが未来へ向けて成長できるよう、さらなる笑顔と感動を生む大会を目指してまいります。また担当する例会においては、次世代を担うメンバーに必要な素養を育む機会を提供し、これまでにあった固定概念にとらわれない多角的で新たな意見や思考を取り入れることで、選択肢が広がり、これによりメンバー一人ひとりが魅力を最大限に發揮できる環境作りの一助となるように成長へと繋がる例会を行います。そして日頃、JC活動を支えてくださっている家族にお礼と感謝の気持ちを伝えるために、淡路JCメンバーが家族に対し、家族の皆さまが楽しめる時間を提供し、今後も私たちの活動に対してご理解とご協力を得られるような例会を企画してまいります。

淡路島のこれからを築いていく人財を育て、未来を切り拓いていく力を育むことが担いなると考えます。淡路JCメンバーに対する例会を通じて、一人ひとりが未来へと導く力を育むことで「明るい豊かな淡路島」の実現へ繋がると確信しております。

スローガン

Next connection ～想いを繋ぐ、淡路島の未来へ～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額	備考
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	5月	わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	正会員・準会員・淡路島島内の児童	400,000	わんぱく相撲淡路場所設営費
・例会の企画・設営及び運営	8月	例会の企画・設営及び運営	正会員	50,000	例会設置費
・例会の企画・設営及び運営	12月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員 家族	600,000	例会設置費
			合計	1,050,000	

役割業務	実施月	業務内容
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	5月	わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営
・例会の企画及び設営及び運営(2回)	8・12月	例会の企画・設営及び運営
・ゴルフ同好会・卒業コンペの開催	5月/通年	
・例会欠席者へのアテンダנסの案内及びフォロー	通年	
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

魅力共感委員会 委員長 中村 芽生



私たち一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」の基本理念のもと、淡路島の将来を担う青年が集い、志をもって活動してきました。先輩諸兄姉が繋いでこられた想いや伝統を継承し、今後発展させていくには、活動の意義や目的を多くの方々に発信し周知する必要があると考えます。組織においても認知度向上の為に、ホームページやSNSの活用は必要不可欠であります。

当委員会では、ホームページやSNS、広報誌を通して、淡路JCの魅力を発信してまいります。その為にも、まず淡路JCの認知度や存在価値を高める為に、組織のブランディングを行う必要があると考えます。毎月の例会では、礼儀作法、新たな知識やスキルを学ぶことで、メンバーの成長の機会と組織のインナーブランディングへと繋がります。また、メンバー一人ひとりが意識を高め、淡路JCの魅力を理解し、JAYCEEとしての魅力を持つメンバーとして成長することは、個人だけではなく組織としても成長でき、淡路JCのインナーブランディングになると考えます。また、研修を通して、仲間と交流し絆を深め、輝く個性が調和する淡路JCならではの喜びや愉しさと価値観を共有しながら友情を深めて参ります。そして、地域貢献となる事業に対して、JAYCEEとしての活動や運動を通して、メンバー同士で切磋琢磨しながら取り組む活動や運動での姿勢や魅力の鮮明な発信を強化することで、メンバーや先輩諸兄姉、また対外の方々からの共感と信頼を得られ、地域社会を巻き込んだ事業構築における協力をより円滑なものとすると考えます。

様々な発信を通じて、その魅力が伝わることで、新たなメンバーを人財として迎えることに繋がるとともに、未来を担うリーダーを育成し、明日を導くリーダーとして成長し、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

スローガン

Next connection ～想いを繋ぐ、淡路島の未来へ～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）	備考
・例会企画・設営及び運営	2月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	20,000	例会設置費
・第24回定期総会設営	2月	総会の設営及び運営	正会員	0	
・例会企画・設営及び運営	4月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	29,000	例会設置費
・臨時総会	7月	総会の設営及び運営	正会員	0	
・研修事業	8月	研修事業の企画・設営及び運営	正会員 準会員	50,000	事業費
・第25回定期総会設営	12月	総会の設営及び運営	正会員	0	
・ホームページの運営・管理	通年	ホームページの運営・管理		57,000	ホームページ運営費
・対内広報誌の発行	通年	対内広報誌の発行	正会員 準会員 特別会員	121,000	広報誌発行費
・総合資料作成	2月	PDFデータ及びCD-R	正会員	1,000	総合資料作成費
			合計	278,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営(2回)	2,4月	例会の企画・設営及び運営
・研修事業の企画・設営及び運営	8月	研修事業の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダントの案内及びフォロー	通年	
・対内広報誌の発行	通年	
・ホームページの管理・運営	通年	
・広報・メディアの活用（ホームページ・SNS等の有効活用	通年	年4回発行
・デジタルデータによる活動記録の保存	通年	
・総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	通年	
・2025年度総合資料の作成	通年	
・褒章に関する報告書作成および保障委員会企画・説及び運営	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

絆づくり委員会 委員長 田中 昭仁



一般社団法人淡路青年会議所は、創立当初より「淡路はひとつ」を基本理念に活動や運動をおこなってきました。これは先輩諸兄姉が人との繋がりで交流を深め、共感することで、よりよい組織を築いてきた成果であると考えます。例年よりも少ない人数でスタートする本年は、これまでにはない組織規模と経験が少ないメンバーが多いからこそ、絆づくりを積極的に推進することが必要あります。

当委員会は、個々の関係を深め、互いの信頼と協力を基盤にした強固な組織を形成する役割を担っております。人が出会うだけでは絆は生まれません。絆を深めるには、交流の機会をもち、協動し、同じ課題に挑戦して、その先にある達成する喜びや楽しみを共有することが必要になります。絆を深めることで、個々の成長やリーダーシップが促進され、組織全体の結束力を強めるため、絆づくりを積極的に取り組んでまいります。最初の事業である新年会においては、メンバー全員でお越し頂いた皆様へこれまでの感謝を伝えるとともに、おもてなしの精神で取り組む事で、2025年度の最高のスタートにしてまいります。例会においては、メンバーが楽しむことを前提に、より深い関わりを持つことに意識をし、繋がりを深め、絆づくりへとつなげていけるように企画・運営に努めてまいります。メンバー同士の活発な交流によって生まれる繋がりは、今後の淡路JCの活動にさらなる活気を生む大切な要素であり組織の大きな推進力となります。このことを念頭に置き、組織の活力向上に繋げてまいります。

メンバー同士の交流を深めることにより、友情を育み、苦難を共にすることで、共感が生まれ、絆へと昇華することで、強固な基盤を築きあげるための大きな原動力となります。帰属意識を高めることで「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

スローガン

水魚之交 ～よりそう絆～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額	備考
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	2,220,000	新年会設置費
・例会の企画・設営及び運営	5月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	74,000	例会設置費
・例会の企画・設営及び運営	9月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	14,000	例会設置費
・例会の企画・設営及び運営	11月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	115,000	例会設置費
		合計		2,423,000	

役割業務	実施月	業務内容
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営（3回）	5・9・11月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダנסの案内及びフォロー	通年	
・公的出向の際の LOM ナイトの企画・設営	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮詢に関する答申業務	通年	

7. 出向者抱負

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記団

書記 田尾 吏



本年度、兵庫ブロック協議会書記団として出向させていただくこととなりました。

兵庫ブロック協議会全体を陰から支える“縁の下の力持ち”として会議の設営、運営、議事録作成などに尽力してまいります。誰よりも一步先を見据え、気配りと思いやりをもって仲間の挑戦を後押し出来るように精一杯努めますので、よろしくお願ひいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記団

書記 原 亜里沙



この度、兵庫ブロック協議会書記団の一員として出向させていただきました。会議が有意義なものとなるよう、他 LOM の方と助け合いながら運営をサポートいたします。学んだことを淡路 JC にて還元できるよう精一杯頑張ってまいりますので一年間よろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記団

書記 堀部 泰博



本年度、兵庫ブロック協議会書記団の書記として出向させて頂くことになりました。淡路 JC から出向しているという責任を自覚し、兵庫ブロック協議会の各会議の議事運営がスムーズに進行できるよう一生懸命務めてまいります。ここで得た経験や知識を LOM に還元し、JC 活動の向上に繋げていきたいと思いますので、宜しくお願ひいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財務規則審議会

議員 秦 健二



本年度、兵庫ブロック協議会財務規則審議会に出向することになりました。財務規則審議会は、法令や規則に則り、私たちの活動が適切かつ効率的に運営されているかを精査する場です。財政は「攻め」、規則は「守り」、そして監査は「改善」の役割を担い、これらをしっかりと実行して参ります。

JCの活動は、メンバー全員のお金と時間で成り立っています。決して無駄にすることはできません。そのため、出向先では、資金を効率的に活用し、規則を遵守しながら活動の透明性を高めることに注力します。そして、得た経験を淡路JCに持ち帰り、メンバーのトレーニングや組織の信頼性向上に貢献していきたいと考えています。

この任務を通じて、自身の成長や、淡路JCの発展に貢献できるよう精一杯努めてまいりますので宜しくお願ひ申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本JC連携推進会議

議員 木戸 隆一郎



本年度、兵庫ブロック協議会日本JC連携推進会議に出向させていただくこととなりました。本会議において、他LOMに所属する皆様と会議や事業を通して、学びや切磋琢磨する中で自信を高めることで、LOM内での活動にもその経験を持ち帰り活かしてまいりたいと考えております。1年間できる限り努める所存でございますので、どうぞよろしくお願ひします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫未来創造委員会

副委員長 松田 恒久



本年度、兵庫ブロック協議会兵庫未来創造委員会に出向させて頂くことになりました。

今年で理念共感グランドラインは最終年度となります。当委員会にて1年間を通して理念共感プログラムを5回開催させて頂きます。メイン事業としましては、防災事業を予定しております。

VCとして、全力で委員会をサポートして参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 尾植 友貴



本年度、兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。

入会したばかりで右も左も分かりませんが、アカデミーでの交流を深め、色々な経験をし、他の LOM の魅力ある事業を学び、自身の LOM へ少しでも持ち帰れるよう精一杯努めて参りますのでよろしくお願ひ致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 横山 夕納



本年度、兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。JCに入会したばかりで右も左も分からぬ中での出向ということで不安や戸惑いがありましたが、アカデミー委員会は同じように、日の浅いメンバーが交流を行う中でJCについて考えるものだと聞き、少し安心しました。他LOMのメンバーと交流する中で、淡路JCに何か持ち帰ることが出来るよう、積極的に参加していきたいと思っています。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC ブランディング委員会

委員 伊東 明信



本年度、兵庫ブロック協議会 JC ブランディング委員会に出向させていただくこととなりました。

本委員会においては、兵庫ブロック協議会の JC 活動の発信や LOM ナイトの設営、JC カップなど多岐に渡ります。

LOM 内での活動に良い刺激を与えられるよう頂いた機会を最大限活用出来ればと考えています。1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員 中山 貴子



本年度、兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させて頂くことになりました。今年のブロック大会は高砂の地で開催されます。魅力ある事業を学び LOM に持ち帰れるよう、精一杯頑張って参りますので1年間よろしくお願ひ致します。

8. 正味財産増減予算

自 2025 年 1 月 1 日
至 2025 年 12 月 31 日
単位：円

科 目	予算額 R7.1.1～R7.12.31	予算額 R6.1.1～R6.12.31	決算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R5.1.1～R5.12.31	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 受取入会金		50,000	400,000	50,000	
② 受取会費	5,380,000	7,180,000	7,885,000	7,310,000	
正会員受取会費	4,960,000	6,880,000	7,615,000	7,040,000	31名 × ¥160,000
その他受取会費	420,000	300,000	270,000	270,000	卒業生14名 × ¥30,000
③ 事業収益	2,455,000	0	1,221,000	0	
受託事業収益	0	0	0	0	
登録料	2,455,000	0	966,000	0	
その他事業収益	0	0	255,000	0	
④ 受取負担金	0	0	0	0	
⑤ 寄付金			420,000		
⑥ 雑収益	500	500	505	500	
受取利息	500	500	105	500	
配当金	0	0	400	0	
雑収益	0	0	3,570	0	
経常収益計	7,835,500	7,230,500	9,930,075	7,360,500	
(2) 経常費用					
① 事業費					
給料手当	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	
会議費 貸借料	522,925	843,565	642,305	697,150	
消耗品費	414,395	326,659	390,551	583,464	※予備費を計上する
レンタル料	0	80,000	215,000	0	
食糧費	1,500	20,000	20,130	0	
人件費	0	0	0	0	
支払手数料	0	150,000	150,000	0	
講師関係費	352,350	795,000	422,835	690,000	
謝礼金	249,400	250,000	890,580	1,030,000	
資料作成費	177,800	341,800	774,850	375,000	
広告普及費	593,000	192,500	275,691	115,000	
報告書作成費	990	990	4,670	0	
旅費交通費	0	0	0	0	
交際費	2,324,000	0	966,000	0	
保険料	20,000	10,000	9,760	0	
印刷製本費	364,000	377,250	350,000	0	
通信運搬費	20,250	14,620	17,086	25,756	
支払負担金	0	0	10,000	0	
雑費	51,500	85,450	6,670	73,000	
事業費計	5,092,110	3,487,834	5,146,128	3,589,370	

科 目	予算額 R7.1.1～R7.12.31	予算額 R6.1.1～R6.12.31	決算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R5.1.1～R5.12.31	備考
②管理費					
会議費	0	0	0	0	
給料手当	1,100,000	1,100,000	1,120,206	1,100,000	
退職給付引当金					
福利厚生費	160,000	160,000	132,410	150,000	交通費・雇用保険料・制服
涉外費	300,000	400,000	286,168	300,000	褒賞¥60,000+各種登録¥108,000
慶弔費	100,000	100,000	48,000	100,000	
減価償却費	100,000	100,000	76,562	100,000	
消耗品費	500,000	500,000	199,948	500,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	
通信費	400,000	400,000	392,614	300,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,000	30,000	32,505	30,000	
貢借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	¥100,000×12ヶ月
光熱水料費	390,000	390,000	335,866	380,000	
保険料	26,000	26,000	25,220	26,000	火災保険
謝礼金	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	0	50,000	
租税公課	40,000	40,000	35,340	40,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	120,000	120,000	123,701	100,000	登記代・振手・備品
小計	4,536,000	4,636,000	4,025,040	4,396,000	
③負担金					
JCI会費	66,495	96,148	97,110	94,952	¥2,145×31名
日本JC会費	185,000	245,000	255,000	250,000	¥30,000+¥5,000×31名
国際協力資金	56,575	78,475	82,125	80,300	¥5×365日×31名
近畿地区会費	57,800	79,400	83,000	81,200	¥2,000+¥1,800×31名
兵庫ブロック会費	195,000	255,000	265,000	260,000	¥40,000+¥5,000×31名
淡路島日本遺産委員会					
小計	560,870	754,023	782,235	766,452	
管理費計	5,096,870	5,390,023	4,807,275	5,162,452	
経常費用計	10,188,980	8,877,857	9,953,403	8,751,822	
当期経常増減額	△ 2,353,480	△ 1,647,357	△ 23,328	△ 1,391,322	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
経常外費用増減額					
一般正味財産増減額	△ 2,353,480	△ 1,647,357	△ 23,328	△ 1,391,322	
一般正味財産期首残高			11,189,768		
一般正味財産期末残高			11,166,440		
Ⅱ正味財産期末残高			11,166,440		

9. 役員名簿

【理事長】 横山 泰明

【直前理事長兼監事】 横山 奈津紀

【監事】 川越 勇輔

【副理事長】 植野 泰幸

伊東 明信

小川 優一

木戸 隆一郎

【専務理事】 津田 和典

【出向理事】 原 亜里沙

【出向理事】 松田 恒久

【出向理事】 田尾 吏

【理事】 藤本 朋大 吉田 光佑

中山 貴子 中村 芽生

田中 昭仁

10. 出向者一覧

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会】

書記団

田尾 吏

原 亜里沙

堀部 泰博

財務規則審査会議

秦 健二

日本JC連携推進会議

木戸 隆一郎

兵庫の未来創造委員会

松田 恒久

JCブランディング委員会

伊東 明信

ブロック大会運営委員会

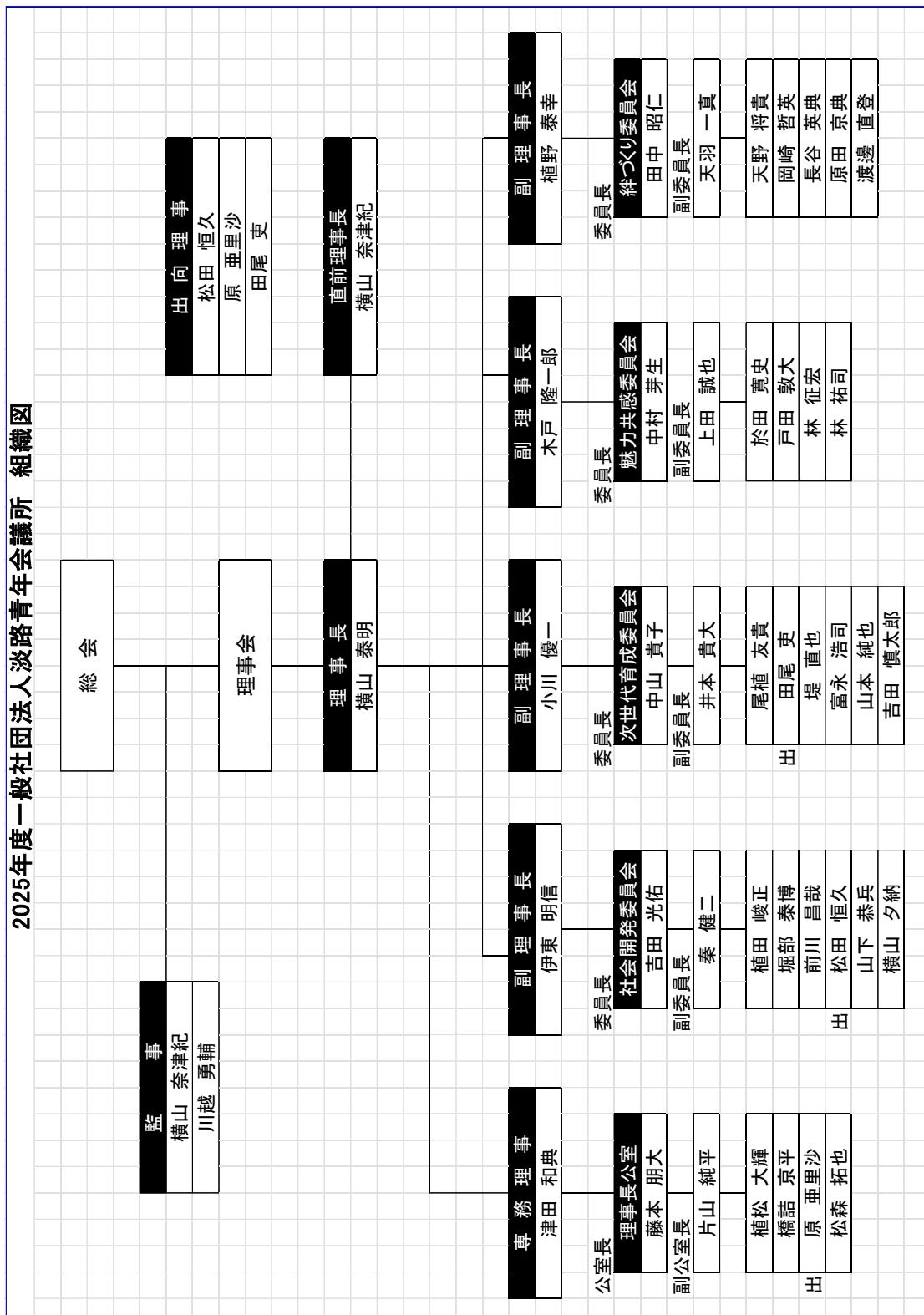
中山 貴子

兵庫アカデミー委員会

横山 夕納

尾植 友貴

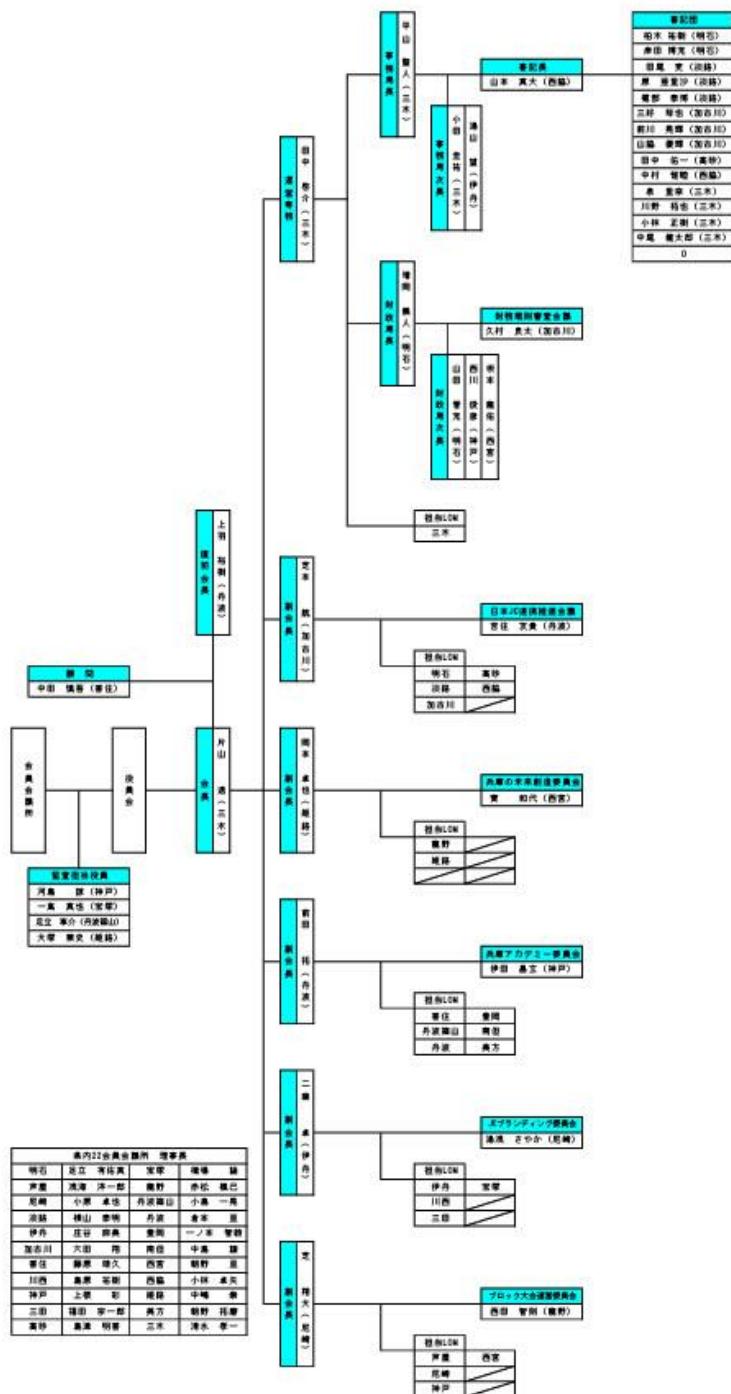
11. 組織図及び委員会構成



12. 年間スケジュール

2025年度 年間スケジュール												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例 会	8日(水) 1月例会 2月例会 18:30~20:30	12日(水) 3月例会 18:30~21:00	9日(水) 4月例会 18:30~20:45	14日(水) 5月例会 18:30~20:00	11日(水) 6月例会 18:30~20:45	9日(水) 7月例会 18:30~20:30	6日(水) 8月例会 18:30~20:45	6日(水) 9月例会 18:30~20:45	6日(水) 10月例会 18:30~20:45	6日(水) 11月例会 17:30~20:00	12日(水) 12月例会 18:30~20:30	10日(水)
総 会	12日(水) 第24回定期総会	5日(水) 19:00~21:30	2日(水) 19:00~21:30	7日(火) 19:00~21:30	4日(水) 19:00~21:30	2日(水) 19:00~21:30	7/30(水) 19:00~21:30	3日(水) 19:00~21:30	1日(水) 19:00~21:30	5日(水)	19:00~21:30	10日(水)
理 事 会	4日(土) 19:00~21:30	21日(月) 京都会議・総会 23日(木)~26日(日)	24日(月) 24日(月)	28日(月)	28日(月)	23日(月)	21日(月)	25日(月)	22日(月)	27日(月)	24日(月)	22日(月)
三 役 会												
日本青年会議所												
JCI関係												
近畿 地区事業	会員会議所会議 22日(土) 京都											
兵 庚	会員会議所会議 11日(火) WEB	23日(日) 加古川	27日(日) 姫路	29日(日) 龍野	12日(土) 伊丹	12日(木)~15日(日)	金賞講演(京都)	地区大会(兵庫)	13日(日)~14日(月)	26日(日) 尼崎	23日(日) 神戸	2日(日)~9日(日)
ア' ロ' ク' LOM	正副会長会議 10日(金) WEB	21日(金) WEB	4日(金) WEB	2日(金) WEB	27日(金) WEB	27日(金) WEB	15日(火)	15日(火)	14日(土)~14日(月)	4日(土) WEB	12日(金) WEB	5日(金)
協議会	委員会議会 11日(火) 神戸											
その他事業	11日(火) 北方領土の日 竹島の日											
兵庫JCI内 各地周年記念式典												
各 委 員 会	理 事 長 公 室 1月例会	会員名簿作成	3月例会 LOM役員懇親会				6月例会					
企 画	社会開発事業		社会開発事業					7月例会			10月例会	
次 世 代 育 成												12月例会
計	魅 力 共 感	対内広報発行 ホームページ運営 総合資料作成	2月例会 第2回定期総会		4月例会							第2回定期総会 研修事業
画	綱 づ け り	新年会					5月例会			9月例会		11月例会

13. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議会組織図





Awaji Island

